

(別表5-②)

介護福祉学科 教育課程(令和8年度以降入学の方)

領域	教育内容	科目	第1年次		第2年次		時間数	単位数	
			前期	後期	前期	後期			
人間と社会	人間の尊厳と自立	人間の尊厳と自立	30				30	2	
	人間関係とコミュニケーション	人間関係とコミュニケーション		30			30	2	
		レクリエーションワーク		30			30	1	
	社会の理解	社会の理解1		30			30	2	
		社会の理解2		30			30	2	
		社会の理解3		30			30	2	
	人間と社会に関するその他の科目	地域福祉			30		30	2	
情報処理			30			30	2		
小計			30	180	30	0	240	15	
介護	介護の基本	基礎介護総論1	30				30	2	
		基礎介護総論2		30			30	2	
		基礎介護1	30				30	2	
		基礎介護2	16				16	1	
		基礎介護3	30				30	2	
		基礎介護4			30		30	2	
	コミュニケーション技術	基礎介護5				16	16	1	
		コミュニケーション技術1(通年)	10	20			30	2	
	生活支援技術	コミュニケーション技術2				30	30	2	
		生活支援技術1	生活支援技術1	30				30	1
			生活支援技術2	30				30	1
			生活支援技術3	30				30	1
			生活支援技術4		30			30	1
			生活支援技術5		30			30	1
			生活支援技術6		30			30	1
			生活支援技術7		30			30	1
		生活支援2	生活支援1			30		30	1
			生活支援2				30	30	1
			生活支援3				30	30	1
		介護過程	介護過程1		30			30	2
			介護過程2		30			30	2
			介護過程3			30		30	2
	介護過程4					30	30	2	
	介護過程5					30	30	2	
	介護総合演習	介護総合演習1	30				30	2	
		介護総合演習2		30			30	2	
		介護総合演習3			30		30	2	
		介護総合演習4				30	30	2	
	介護実習	介護実習 I-1	35				35	1	
		介護実習 I-2		35			35	1	
		介護実習 I-3		35			35	1	
		介護実習 I-4		35			35	1	
		介護実習 II-1			154		154	5	
介護実習 II-2					161	161	5		
小計			271	365	320	311	1267	58	
こころとからだのしくみ	発達と老化の理解	発達と老化1		30			30	2	
		発達と老化2			30		30	2	
	認知症の理解	認知症の理解1	30				30	2	
		認知症の理解2			30		30	2	
	障害の理解	障害の理解1	30				30	2	
		障害の理解2			30		30	2	
	こころとからだのしくみ	こころのしくみ		30			30	2	
		からだのしくみ1	45				45	3	
小計			105	105	90	0	300	20	
医療的ケア	医療的ケア	医療的ケア1		30			30	2	
		医療的ケア2				60	60	4	
小計			0	30	0	60	90	6	
合計			406	680	440	371	1897	99	
その他の科目	福祉レクリエーション		30				30	1	
	小計		30	0	0	0	30	1	
総計			436	680	440	371	1927	100	

(注) 講義・演習は15～30時間を1単位、実習及び実技については30時間を1単位とする。但し介護実習につき、各々定められた施設での実習時間を以て履修とする。

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
人間の尊厳と自立	西村 伸	1	2	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

介護・福祉の実践の根底となる必要な思想、倫理、価値を学ぶ。具体的には、介護・福祉実践の基本となる福祉理念、欲求、自立について学習する。人の尊厳、権利擁護などについて、相模原障害者施設殺傷事件や優生思想などから考える。生命倫理の4原則に基づき介護・福祉実践を考える。

◇到達目標

介護福祉士の倫理、価値に基づいた介護実践を理解し、振り返ることができるようになる。

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	・概説—介護の仕事、介護福祉士、倫理綱領	講義	
第2回	・欲求(1)—マズローの欲求段階説	講義	
第3回	・欲求(2)—事例①②、 فرانクルの自己実現理論	講義	
第4回	・福祉の理念(1)—福祉思想の歴史、ノーマライゼーション	講義	
第5回	・福祉の理念(2)—ノーマライゼーション、コミュニティアプローチ	講義	
第6回	・福祉の理念(3)—自立生活運動、この子らを世の光に	講義	
第7回	・自立(1)—色々な視点から見た自立、総体としての自立	講義	
第8回	・自立(2)—ライフサイクルから見た自立、自己選択・自己決定	講義	
第9回	・自立(3)—自律、依存と選択	講義	
第10回	・尊厳(1)—相模原事件、人権の歴史、幸福追求権と生存権	講義	
第11回	・尊厳(2)—利用者の権利	講義	
第12回	・尊厳(3)—利用者の権利侵害が起こる状況、権利擁護の視点	講義	
第13回	・権利擁護—権利擁護の分類、様々な権利擁護の方法	講義	
第14回	・福祉の倫理に基づく実践—生命倫理の4原則	講義	
第15回	・試験	試験	

評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 試験 (60%) <input type="checkbox"/> 実技試験 (0%) <input type="checkbox"/> 演習評価 (0%) <input type="checkbox"/> 小テスト (0%) <input checked="" type="checkbox"/> レポート (40%) <input type="checkbox"/> その他 (0%)
------	---

教科書	介護福祉士養成講座編集委員会編『人間の理解』中央法規出版、第2版、2022年（最新・介護福祉士養成講座1）
参考図書	プリント配布
留意事項	レポートは要領・締切を守り、必ず提出のこと 予習・復習すること

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
人間関係とコミュニケーション	西村 伸	1	2	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

日常の人間関係とコミュニケーションの理解を通して、介護・福祉実践で用いる技法を習得する。①日常の人間関係とコミュニケーション、②介護実践で用いる各種ソーシャルワーク理論・心理療法、③対人援助職としての基本となるバイスティックのケースワークの7原則の学習を行う。

◇到達目標

自己のコミュニケーション・人間関係・生活について振り返ることによって自己覚知を促し、介護・福祉実践で専門的なコミュニケーションを用いることができるようになる。

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	コミュニケーションの要素(1)—場面、関係性、無意識性	講義	
第2回	コミュニケーションの要素(2)—沈黙、熱意、言語、非言語、周辺言語	講義	
第3回	コミュニケーションの要素(3)—伝え方、空間、外観、環境	講義	
第4回	家族の理解とファミリーマップ(1)—家族、家族図の描き方	講義	
第5回	家族の理解とファミリーマップ(2)—家族システム理論、事例	講義・演習	
第6回	生態学モデルの理解とエコマップ(1)—生態学モデル	講義	
第7回	生態学モデルの理解とエコマップ(2)—生態図の描き方、事例	講義・演習	
第8回	心の理解と精神分析療法(1)—精神分析学、心の仕組み・現れ方	講義	
第9回	心の理解と精神分析療法(2)—精神分析療法の実際、解釈	講義	
第10回	ストレスの理解と認知行動療法(1)—ストレス	講義	
第11回	ストレスの理解と認知行動療法(2)—認知行動療法とその実際	講義	
第12回	ケースワークの7原則(1)—個別化、意図的な感情表現	講義	
第13回	ケースワークの7原則(2)—統制された情緒関与、受容、非審判的態度	講義	
第14回	ケースワークの7原則(3)—自己決定、秘密保持	講義	
第15回	試験	試験	

評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 試験 (60%) <input type="checkbox"/> 実技試験 (0%) <input type="checkbox"/> 演習評価 (0%) <input type="checkbox"/> 小テスト (0%) <input checked="" type="checkbox"/> レポート (40%) <input type="checkbox"/> その他 (0%)
------	--

教科書	介護福祉士養成講座編集委員会編『人間の理解』中央法規出版、第2版、2022年(最新・介護福祉士養成講座1)
参考図書	プリント配布
留意事項	レポートは要領・締切を守り、必ず提出のこと、予習復習すること

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
レクリエーションワーク	中西 信之	1	1	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

人間関係の形成とコミュニケーションの基礎な知識とレクリエーション支援を通して習得する実践能力を構築するとともにチームマネジメントを理解する
(レクリエーションインストラクター資格取得科目 課程認定校資格取得に付きその他必要要件あり)

◇到達目標

レクリエーション活動を通して実践能力を身につける
レクリエーションインストラクターの資格取得を目指す

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	レクリエーション支援の方法 (回想法)	講義・演習	
第2回	レクリエーション支援の実施 (ソング伝え方)	講義・演習	
第3回	レクリエーション活動の習得 (レクダンスと手話を用いたレク)	講義・演習	
第4回	レクリエーション支援の実施 (児童とレク演習)	講義・演習	
第5回	レクリエーション支援の実施 (児童とレク)	講義・演習	
第6回	レクリエーション支援理論	講義・演習	
第7回	レクリエーション支援の実施 (ソングー手遊び)	講義・演習	
第8回	レクリエーション支援理論 (レクリエーション活動)	講義・演習	
第9回	レクリエーション支援の方法	演習	
第10回	レクリエーション支援のプログラム (プログラムについて)	講義	
第11回	レクリエーション支援のプログラム (計画演習)	演習	
第12回	レクリエーション支援のプログラム	演習	
第13回	レクリエーション支援の実施 (実技検討)	演習	
第14回	レクリエーション支援の実施 (ロールプレイ演習)	演習	
第15回	レクリエーション支援の方法 (計画作成)	演習	

評価方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 (%) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input checked="" type="checkbox"/> 演習評価 (50%)
	<input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input checked="" type="checkbox"/> レポート (50%) <input type="checkbox"/> その他 (%)

教科書	なし
参考図書	レクリエーション活動援助法 (中央法規出版) レクリエーションの基礎 (日本レクリエーション協会) 適宜配布
留意事項	資格取得科目に付きレクリエーション現場実習を課す

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
社会の理解 1	鴨野 直敏	1	2	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

超高齢化社会を迎える我が国における福祉施策と制度をその実態から理解する。また我が国における社会保障の基本的考え方と概念を学生に教授する。地域共生社会におけるコミュニティの役割を学生に教授し、ミクロ・メゾ・マクロレベルの制度施策を教授する。

◇到達目標

我が国における社会保障の基本的枠組みについて理解し、介護保険制度のしくみと概念を理解して介護福祉士として援助技術の一環として使用できるようになる。

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	オリエンテーション、少子高齢社会における社会生活のメカニズム理解	講義	
第2回	ライフスタイルの変化と家族・社会・組織の役割の理解	講義	
第3回	コミュニティの概念と地域共生社会の理解	講義	
第4回	地域社会における生活支援と福祉の理解 - 自助・互助・共助・公助	講義	
第5回	地域包括ケアの理念と地域包括ケアシステムの理解	講義	
第6回	社会保障の基本的考え方 - その意義と役割を学ぶ -	講義	
第7回	社会保障制度の歴史と発達 - 国民皆保険・皆年金、福祉六法の時代 -	講義	
第8回	社会保障制度のしくみの理解 - 社会保険と社会扶助を中心に -	講義	
第9回	高齢者福祉の動向と介護保険制度の歴史的発展の理解	講義	
第10回	高齢者福祉に関連する法体系の理解	講義	
第11回	介護保険制度のしくみと目的①運営と動向の理解	講義	
第12回	介護保険制度のしくみと目的②組織と団体の理解	講義	
第13回	介護保険制度のしくみと目的③専門職と多職種連携の理解	講義	
第14回	自分の住んでいる地域の高齢者ケアの課題と方策の理解	講義	
第15回	まとめ、テスト	講義・試験	

評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 試験 (80%) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input type="checkbox"/> 演習評価 (%) <input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input type="checkbox"/> レポート (%) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (出席点 20 %)
------	--

教科書	最新介護福祉士養成講座 2『社会の理解』第3版 2019
参考図書	
留意事項	適宜、プリントを配布する

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
社会の理解 2	鴨野 直敏	1	2	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

我が国における障害者の基本的概念と現状を理解し、その法的定義と施策を学生に教授する。また保健医療に関する諸制度を学生に教授し、社会的弱者と呼ばれる人にどのように支援したら良いのか教授する。

◇到達目標

障害者の基本的概念と現状を理解でき、制度面としてどのような施策があるか理解できるようになる。介護福祉士として生活困窮者や被虐待者と呼ばれるいわゆる社会的弱者に対して支援する方策を理解できるようになる。

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	オリエンテーション、障害者の概念と現状の理解	講義	
第2回	障害者保健福祉の動向と障害者の法的定義の理解	講義	
第3回	障害者福祉の歴史と保健福祉の法律の理解 - 障害者基本法を中心に -	講義	
第4回	障害者総合支援法の目的と総合支援制度の理解①その目的から	講義	
第5回	障害者総合支援法の目的と総合支援制度の理解②制度と施策	講義	
第6回	障害者総合支援法の目的と総合支援制度の理解③障害支援区分	講義	
第7回	介護実践に関連する諸制度について理解する	講義	
第8回	個人の権利を守る制度について理解する - 各虐待防止法を中心に -	講義	
第9回	保健医療に関する制度について理解する①生活習慣病対策を中心に	講義	
第10回	保健医療に関する制度について理解する②感染症対策を中心に	講義	
第11回	貧困と生活困窮に関する制度についての理解①生活保護法を中心に	講義	
第12回	貧困と生活困窮に関する制度についての理解②生活困窮者自立支援法	講義	
第13回	地域生活を支援する制度について理解する - 就労支援・雇用促進制度 -	講義	
第14回	自殺予防対策と制度について理解する	講義	
第15回	まとめ、テスト	講義・試験	

評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 試験 (80%) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input type="checkbox"/> 演習評価 (%) <input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input type="checkbox"/> レポート (%) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (出席点 20 %)
------	--

教科書	最新介護福祉士養成講座 2 『社会の理解』 第3版 2019
参考図書	
留意事項	適宜、プリントを配布する

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
社会の理解3	原田 佳枝 ・ 加藤 貴久	1	2	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

<p>[原田] 介護保険制度創設背景と、目的、現在の動向を理解する。サービスの流れ、専門職の役割について理解する。地域包括支援センターの役割を理解する。</p> <p>[加藤] 障がい福祉を取り巻く現状と動向、現状へとつながる歴史 障害者総合支援法を中心として障害福祉制度 障がい、障がいのある方の生活、支援の実情</p>

◇到達目標

<p>[原田] 介護保険制度を知り、利用者負担の理解ができる。施設ケア・在宅ケアについてサービス内容が理解できる。介護保険の申請から利用までの一連の流れが理解できる</p> <p>[加藤] 介護福祉士国家試験の合格レベルの知識の獲得 不明な知識を自ら調べることで、難解文章を読み解く技術の獲得 障がいのある人の視点に立って物事を考えられる姿勢と人権意識の獲得</p>

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	介護保険の目的	講義	原田
第2回	介護保険法の改正の流れ	講義	原田
第3回	介護保険のしくみ 保険者と被保険者について	講義	原田
第4回	介護保険の申請方法 利用者負担について 現物給付と償還払い	講義	原田
第5回	介護保険給付の対象者について	講義	原田
第6回	介護サービス内容 指定サービス事業者について	講義	原田
第7回	国、都道府県、市町村の役割	講義	原田
第8回	介護支援専門員とは	講義	原田
第9回	公的介護保険サービスと自費サービスについて 介護保険料の計算方法	講義	原田
第10回	講師の経験を通じた障がい福祉の経験、障がいの定義	講義	加藤
第11回	障がい福祉制度の外観（障害者総合支援法を除く）	講義	加藤
第12回	障害者総合支援法（目的とサービスの概要を中心に）	講義	加藤
第13回	障害者総合支援法（税源と負担、サービスの詳細を中心に）	講義	加藤
第14回	障害者総合支援法（相談支援と障がいのある児童を中心に）	講義	加藤
第15回	試験	試験	原田

評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 試験（ 100 %） <input type="checkbox"/> 実技試験（ %） <input type="checkbox"/> 演習評価（ %） <input type="checkbox"/> 小テスト（ %） <input type="checkbox"/> レポート（ %） <input type="checkbox"/> その他（ %）
------	--

教科書	介護福祉士養成講座編集委員会編集「最新介護福祉士養成講座2 社会の理解」中央法規出版
参考図書	伊藤亜紗「みえるとかみえないとか」アリス館
留意事項	テキストは必ず持参すること、予習復習すること 試験は、2対1の配分で評価する

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
情報処理	松浦 仁志	1	2	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

介護福祉にかかる情報処理業務ができるように操作の基礎を学ぶ
(日報、通知文書の作成、管理、発表等の処理)

◇到達目標

Word を用いて社内文書・社外文書の作成、Excel を用いて管理表、チェック・グラフの作成
PowerPoint を用いて資料作成などができる

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	OSの起動・終了、マウス、キーボードの操作、インターネット検索	実習	1章
第2回	Wordによる日本語入力、文章作成、ショートカットキーについて	実習	2章
第3回	Wordによる文書作成、表の挿入、ページ罫線、リボンについて	実習	3章
第4回	Wordによる図、画像を用いた文書作成、課題作成	実習	3章
第5回	課題作成(達成度によって課題数増減)	実習	3章
第6回	Excelによるセル入力(文字、数値、関数、計算式)、リボンについて	実習	4章
第7回	Excelによる表編集、オートフィル機能、関数について	実習	4章
第8回	Excelによる表編集、関数を使った課題作成	実習	4章
第9回	Excelによる相対参照・絶対参照、罫線の課題	実習	4章
第10回	ExcelによるIF関数を使った管理シート、課題作成	実習	4章
第11回	Excelによるグラフ作成、セル参照による課題作成	実習	4章
第12回	PowerPointにてテキストのみのスライド作成、基礎を学ぶ	実習	4章 5章
第13回	PowerPointにて図形、画像、アニメーション効果を学ぶ	実習	5章
第14回	PowerPointによる作成課題を発表	実習	
第15回	試験	筆記試験	

評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 試験 (50 %) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input checked="" type="checkbox"/> 演習評価 (50 %) <input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input type="checkbox"/> レポート (%) <input type="checkbox"/> その他 (%)
------	---

教科書	30時間でマスター Office2024、実教出版株式会社
参考図書	
留意事項	資料は都度作成、必要に応じて配付

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
基礎介護総論1	原田 佳枝	1	2	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

介護の意義と役割、及び専門性について理解し、介護を必要とする人の個性を大切にしながら安全、安心の出来る介護や信頼のおける介護のあり方について学ぶ。また生活を支える介護、自立支援や個別ケアのあり方を学ぶ。

◇到達目標

介護の意義と役割、専門性について理解すると共に、その人らしい生活のあり方を知る
介護福祉士の歴史的背景を知り、介護福祉士としてのあり方を考え、目指す介護福祉士像が見えてくる

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	介護福祉士について考える	講義	
第2回	介護の成り立ち歴史的背景	講義	
第3回	現在の介護 介護の時代背景から現在の介護について	講義	
第4回	現在の介護問題、将来の介護問題について	講義	
第5回	介護福祉士の活動の場と役割	講義	
第6回	介護について考える グループワーク発表	講義	
第7回	求められる介護福祉士像	講義	
第8回	社会福祉士及び介護福祉士法について	講義	
第9回	社会福祉士及び介護福祉士法に関する規定について 事例を通して考える	講義	
第10回	専門職能団体について 介護福祉士会を考える介護サービスの意味と特性	講義	
第11回	介護福祉士の倫理 介護福祉士の対応を考える	講義	
第12回	自立支援の考えについて 利用者の意思決定について	講義	
第13回	自立支援と介護福祉士の役割について	講義	
第14回	介護予防とは 介護予防における介護福祉士の役割	講義	
第15回	まとめ試験	筆記試験	

評価方法	■試験 (100 %) □実技試験 (%) □演習評価 (%)
	□小テスト (%) □レポート (%) □その他 (%)

教科書	新・介護福祉士養成講座 第3巻 介護の基本 I (中央法規出版)
参考図書	
留意事項	

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
基礎介護総論2	原田 佳枝	1	2	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

介護を必要とする人の理解をする。利用者を支援するために、介護実践における連携を学ぶ。利用者が安全に生活を過ごすために、介護における安全の確保とリスクマネジメントを理解し、利用者と介護従事者の安全を学ぶ。

◇到達目標

高齢者や障害のある人の暮らしを理解する。多職種連携や地域連携の目的と意義を理解する
リスクマネジメントの手法や介護従事者の心身の健康管理について理解を深める

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	私たちの生活の理解	講義	
第2回	介護を必要とする人たちの暮らし	講義	
第3回	その人らしさ 支援を考える	講義	
第4回	生活を支えるフォーマルサービスとは	講義	
第5回	生活を支えるインフォーマルサービスとは	講義	
第6回	インフォーマルサービス・フォーマルサービスとの関係について	講義	
第7回	地域連携の目的と役割、様々な機関	講義	
第8回	介護における安全の確保 リスクマネジメントとは	講義	
第9回	身体拘束とは	講義	
第10回	高齢者虐待について	講義	
第11回	高齢者虐待について 要介護者と消費者問題	講義	
第12回	要介護者と消費者問題 多職種連携	講義	
第13回	健康管理と意義と目的	講義	
第14回	身体の健康管理	講義	
第15回	試験 まとめ	試験	

評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 試験 (100 %) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input type="checkbox"/> 演習評価 (%) <input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input type="checkbox"/> レポート (%) <input type="checkbox"/> その他 (%)
------	---

教科書	介護福祉士養成講座 第4巻 介護の基本II 中央法規 配布資料
参考図書	
留意事項	

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
基礎介護 1	[手話]吉岡 陽子 (通訳: 布上佳世) [点字]内藤 恒史	1	2	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

<p>[吉岡] 聴覚障害者とのコミュニケーションの意義と役割を学ぶ 聴覚障害者の生活及び歴史(背景)、教育等を知る 手話での日常会話を学ぶ</p> <p>[内藤] 視覚障害者とのコミュニケーションの意義と役割を学ぶ 視覚障害者の生活を理解し、点字で日常会話ができるよう学ぶ</p>
--

◇到達目標

<p>[吉岡] 自己(家族)紹介や簡単なコミュニケーションを工夫しながら表現ができる 聴覚障害者の生活及び歴史(背景)、教育について知識を持つ</p> <p>[内藤] 視覚障害の特性と視覚障害のある人の生活上の困難と制約を理解する 視覚障害のある人の生活を支援する方法および留意点を理解する</p>

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	自己紹介 「聞こえないって何?」「コミュニケーション方法」	講義・実践	吉岡・布上
第2回	家族の紹介 指文字「聴覚障害者の生活」	講義・実践	吉岡・布上
第3回	数字の表現 疑問詞「聴覚障害者の仕事について」	講義・実践	吉岡・布上
第4回	趣味 「聴覚障害者の教育と高齢福祉」「デフリンピック」	講義・実践	吉岡・布上
第5回	講義 「ろうの親を介護した経験談」	講義	吉岡・布上
第6回	場所の表現 「聴覚障害者と災害」「合理的配慮」	講義・実践	吉岡・布上
第7回	会話の練習 「手話通訳」「優生保護法」「手話施策推進法」	講義・実践	吉岡・布上
第8回	交流会 (コミュニケーション体験)	演習	吉岡・布上
第9回	まとめ (今までの復習・講義の確認)、グループトーク	講義・実践	吉岡・布上
第10回	試験	筆記試験	吉岡・布上
第11回	点字器の使い方、点字の書き方 (50音)	講義・演習	内藤
第12回	点字の書き方 (濁音・半濁音)	講義・演習	内藤
第13回	点字の書き方 (拗音)	講義・演習	内藤
第14回	点字の書き方 (数字・アルファベット)	講義・演習	内藤
第15回	簡単な文章の作成	講義・演習	内藤

評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 試験 (20 %) <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 (25 %) <input type="checkbox"/> 演習評価 (%)
	<input checked="" type="checkbox"/> 小テスト (10 %) <input checked="" type="checkbox"/> レポート (40 %) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (授業態度 5 %)

教科書	今すぐはじめる手話テキスト聴さんと学ぼう!(全日本ろうあ連盟) 初めての点訳(全国視覚障害者情報提供施設協会)
参考図書	プリント配付
留意事項	レポート提出

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
基礎介護2	森山 貴司	1	1	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

文章構成の基礎を学び、文章作成や校正ができることを目指す

◇到達目標

目的に合った文章が作成できる（自己PR・小論文）
ポイントを押さえた校正ができる

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	国語について（読む・書く・聞く・話す）	講義・演習	
第2回	文章作成の基礎Ⅰ（書き言葉・話し言葉・文の構成）	講義	
第3回	文章作成の基礎Ⅱ（句読点、校正の方法等）	講義	
第4回	ICTの活用	講義・演習	
第5回	事例作成（グループ討議、発表）	演習	
第6回	自己PRを書く（グループ討議、発表）	演習	
第7回	小論文を書く（グループ討議、発表）	演習	
第8回	テスト	テスト	
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			

評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 試験（ 20 %） <input type="checkbox"/> 実技試験（ %） <input checked="" type="checkbox"/> 演習評価（ 60 %） <input type="checkbox"/> 小テスト（ %） <input type="checkbox"/> レポート（ %） <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 提出課題 20 %）
------	--

教科書	プリント、基礎からの国語表現の実践（啓隆社）
参考図書	
留意事項	予習・復習をする

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
基礎介護3	原田 佳枝・天神 陽子・樋口ひとみ 森下 良亮・富澤 和矢 他	1	2	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

<p>[原田、他] 介護福祉士の活動の役割について考え、様々な視点から将来を考える [天神] 色彩が持つ心理的作用、色の組み合わせによる印象の変化、色の三属性、視覚と色の関係を学び、セルフケア・レクリエーションへの活用を目指す</p>
--

◇到達目標

<p>[原田、他] 介護を必要とする利用者の現状を知る。さまざまな介護サービスを理解し、個々の利用者に応じた支援を学ぶ。多職種の役割を知ることによりチームケアの中核を担う介護福祉士の役割を理解する。 [天神] 各色の特徴を理解し、色を意識的に活用できるようになる 色の見え方に留意し、効果的な色の組み合わせ、使い方を考察できるようになる</p>
--

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	各色の特徴① 赤、オレンジ、黄、緑、青、紫 と心理	講義・実習	天神
第2回	各色の特徴② 黒、灰色、白、茶色、ピンク と心理、生理作用	講義・実習	天神
第3回	色の三属性による分類と配色パターンで生活提案	講義・実習	天神
第4回	インテリアカラー、ユニバーサルカラー、パーソナルカラー考察	講義・実習	天神
第5回	防災について考える 京都市防災センター	講義・実習	原田
第6回	防災について考える 京都市防災センター	講義・実習	原田
第7回	サービス付き高齢者向け住宅とは	講義	仲村
第8回	基本的なマナー	講義・演習	樋口
第9回	介護予防とは	講義	橋本
第10回	介護予防の取り組み 見学実習を通して	演習	橋本
第11回	災害ボランティアの心構え 奈良県ボランティアセンター	講義	田中
第12回	福祉災害に関する知識 奈良県ボランティアセンター	講義	田中
第13回	地域包括支援センターの介護福祉士の役割について	講義	富澤
第14回	地域包括支援センターのしくみ	講義	森下
第15回	地域包括支援センターの地域活動と役割	講義	森下

評価方法	<input type="checkbox"/> 試験 (%) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input checked="" type="checkbox"/> 演習評価 (30%) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input checked="" type="checkbox"/> レポート (70%) <input type="checkbox"/> その他 (%)
------	--

教科書	プリント配付
参考図書	
留意事項	

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
コミュニケーション技術1	加納 岬	1	2	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

介護におけるコミュニケーションの基本を理解する。さまざまな介護場面における利用者とのコミュニケーションを学ぶ。

介護におけるコミュニケーションの意義・目的・役割の理解をする。情報の共有方法を知る。

◇到達目標

利用者の状況に応じたコミュニケーション方法の習得をする。記録の方法・活用を知る。

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	コミュニケーションの基本 かかわりを示す5つの基本動作	講義・演習	
第2回	態度に関する基本技術	講義・演習	
第3回	ジョハリの窓 自己覚知とは	講義・演習	
第4回	プロセスレコードとは 記録の意義と目的	講義・演習	
第5回	プロセスレコードの展開 記録の意義と目的	講義・演習	
第6回	質問の技法 言語・非言語・準言語コミュニケーションの基本	講義・演習	
第7回	言語・非言語・準言語コミュニケーション 挨拶 敬語の使い方	講義・演習	
第8回	報告・連絡・相談の技術	講義・演習	
第9回	うつ病・統合失調症・知的障害のコミュニケーション	講義・演習	
第10回	初対面のコミュニケーション 発達障害のコミュニケーション	講義・演習	
第11回	初対面のコミュニケーション 介護のストレスとは	講義・演習	
第12回	介護のストレスとは 家族のもつ介護ストレスとは	講義・演習	
第13回	家族のもつ介護ストレスとは アンガーマネジメントとは	講義・演習	
第14回	アンガーマネジメントとは まとめ	講義・演習	
第15回	試験	筆記試験	

評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 試験 (80 %) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input type="checkbox"/> 演習評価 (%) <input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input checked="" type="checkbox"/> レポート (20 %) <input type="checkbox"/> その他 (%)
------	--

教科書	介護福祉士養成講座 第5巻 コミュニケーション技術 中央法規 配布資料
参考図書	
留意事項	

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
生活支援技術1	加納 岬 ・ 金丸 早智子	1	1	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

自立に向けた居住環境の整備・睡眠の介護を学ぶ
 人と空間の在り方から、加齢に対応した住環境の整備について、意義・目的を理解する。
 その理解の上に、整備のための基礎知識の習得を目指す。
 睡眠の意義と目的を学び、適切な睡眠環境を整える。

◇到達目標

利用者に必要な生活支援技術(住環境)を見出せるようになること、安全・安心な暮らしに必要な整備の方策を提案できるようになることを目標とする。
 利用者個人に応じた、快適な睡眠環境を支援できるようにする。ベッドメイキングの手技を習得する

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	人と生活空間・生活行為・起居様式、各室の整備上の留意点について	講義・演習	金丸
第2回	各室の整備上の留意点について（寝室・トイレ・浴室・台所等）	講義・演習	金丸
第3回	室内気候の調整（痛風、換気等）	講義・演習	金丸
第4回	室内気候の調整（明るさ、音環境等）	講義・演習	金丸
第5回	安全に暮らすための生活環境（住宅内事故等）	講義・演習	金丸
第6回	安全に暮らすための生活環境（安全に暮らすための対応策等）	講義・演習	金丸
第7回	安全に暮らすための生活環境（介護保険を使った住宅改修）	講義・演習	金丸
第8回	まとめ	講義・演習	金丸
第9回	睡眠の意義と目的 不眠時の対応方法	講義・演習	加納
第10回	ベッドメイキングの意義	講義・演習	加納
第11回	シーツ類のたたみ方 下シーツの敷き方 三角コーナーの作り方	講義・演習	加納
第12回	三角コーナー・四角コーナーの作り方	講義・演習	加納
第13回	枕・毛布の敷き方 防水シーツの敷き方	講義・演習	加納
第14回	ベッドメイキング	講義・演習	加納
第15回	試験	筆記試験	金丸

評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 試験（ 100 %） <input type="checkbox"/> 実技試験（ %） <input type="checkbox"/> 演習評価（ %） <input type="checkbox"/> 小テスト（ %） <input type="checkbox"/> レポート（ %） <input type="checkbox"/> その他（ %）
------	--

教科書	介護福祉士養成講座 第6巻 生活支援技術Ⅰ(中央法規出版) 配布資料 介護福祉士養成講座 第7巻 生活支援技術Ⅱ(中央法規出版) 配布資料
参考図書	
留意事項	

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
生活支援技術2	加納 岬	1	1	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

自立に向けた移動の介護を学ぶ。移動介助の基礎知識を習得する。
移動の意義を理解し、安全・安楽な移動介助を学ぶ。

◇到達目標

ボディメカニクスを理解する。移動動作の根拠を学び、ADLに応じた移動の介護を学ぶ。
安全に配慮した移動介助を習得し、適切な支援を理解する。

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	移動の意義と目的	講義・演習	
第2回	移動介護の基本的理解	講義・演習	
第3回	対面法・背面法	講義・演習	
第4回	対面法・背面法・水平移動	講義・演習	
第5回	水平移動・上方移動	講義・演習	
第6回	起き上がり～端座位	講義・演習	
第7回	車いすの操作・介助方法 ベッド～車いす 一部介助・全介助	講義・演習	
第8回	車いす～ベッド 一部介助・全介助	講義・演習	
第9回	車いすの種類・特徴	講義・演習	
第10回	車いす～ベッド ベッド～車いす スライディングボードの介助	講義・演習	
第11回	車いすの段差越え	講義・演習	
第12回	腰痛予防対策	講義・演習	
第13回	移動介助の実践 事例を通して	講義・演習	
第14回	まとめ	講義・演習	
第15回	試験	試験	

評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 試験 (100 %) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input type="checkbox"/> 演習評価 (%) <input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input type="checkbox"/> レポート (%) <input type="checkbox"/> その他 (%)
------	--

教科書	介護福祉士養成講座 第6巻 生活支援技術 I (中央法規出版) 配布資料
参考図書	
留意事項	

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
生活支援技術3	原田 佳枝	1	1	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

食事とは・・・を考え、自立に向けた食事の介護について理解する。
 的確な介護を提供するための技術を身につける
 口腔ケアにいて知識を深める
 ①医療機関受診のための準備、診療時・検査時の援助方法について理解する
 ②薬剤使用時の基礎知識について理解し、正しい服薬および使用方法について学ぶ

◇到達目標

利用者にとっての食事のあり方について考えることが出来る
 医療行為でないと原則されているものを理解し、薬剤使用時に必要な援助方法を学ぶ
 基本的な口腔ケアの知識、技術を得る
 利用者の思いを理解し、受診時に情報を適切に伝えることが正しい診断・治療に繋がることを知る

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	食事とは 「楽しい食事」について考える	講義	
第2回	食事の意義と目的	講義	
第3回	食事の介護 誤嚥防止について	講義	
第4回	障がいに応じた食事介護（認知症・視覚障害者）	講義	
第5回	正しい姿勢での食事を考える 椅子の高さや介護者の位置	講義・演習	
第6回	留意事項食事介護の事例問題 グループ検討	演習	
第7回	食事介護のアセスメント	講義・演習	
第8回	口腔ケアとは 口腔機能を考える	講義	
第9回	口腔ケア 口腔ケアの介護を考える	講義	
第10回	口腔ケア スポンジブラシを作り介護方法を考える	演習	
第11回	実際の食事介護 誤嚥、脱水を考える介護	講義	
第12回	食事方法を考える	演習	
第13回	医療機関受診時の介護、服薬時・薬剤使用時の介護	講義	
第14回	オブラート使用による内服、外用剤の使用法・注意点	演習	
第15回	まとめ試験	試験	

評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 試験（ 100 %） <input type="checkbox"/> 実技試験（ %） <input type="checkbox"/> 演習評価（ %） <input type="checkbox"/> 小テスト（ %） <input type="checkbox"/> レポート（ %） <input type="checkbox"/> その他（ %）
------	---

教科書	新・介護福祉士養成講座第7巻 生活支援技術Ⅱ（中央法規出版）
参考図書	介護職のための医療行為&薬の基本完全ガイド（ひかりのくに）
留意事項	

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
生活支援技術4	原田 佳枝 ・ 杉田 みどり	1	1	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

<p>〔原田〕排泄の仕組みを理解し、排泄介護について知る。 排泄に関しての他職種連携を学ぶ 介護福祉士としての排泄の技術を習得する。</p> <p>〔杉田〕介護利用者の健康を見守るために、介護職として薬の働きや使い方について正しい知識を持つこと を目指す</p>

◇到達目標

<p>〔原田〕排泄の幅広い知識を得て、排泄介助の技術を習得する</p> <p>〔杉田〕薬の基本、身体の仕組みと薬、症状からみる薬の作用、症状からみる薬の副作用、添付文書の調べ方等を身につける</p>

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	排泄の仕組み	講義	原田
第2回	排泄についての理解	講義	原田
第3回	排泄機能障害について 他職種連携について	講義	原田
第4回	紙おむつの種類、仕組みについて	講義	原田
第5回	介護福祉士が出来る排泄に関するケア	講義	原田
第6回	紙おむつ、布おむつのあて方 女性の交換方法 陰部清拭方法	実技	原田
第7回	紙おむつ、布おむつのあて方 男性の交換方法 陰部清拭方法	実技	原田
第8回	ポータブルトイレの移乗方法・事例問題を通して学ぶ	講義・実技	原田
第9回	尿器、便器の扱い方 介護方法	講義・実技	原田
第10回	排泄の事例検討	実技	原田
第11回	薬の基本を知る	講義	杉田
第12回	身体の仕組みと薬、症状からみる薬と薬理 (その1)	講義・演習	杉田
第13回	症状からみる薬と薬理 (その2)	講義・演習	杉田
第14回	症状からみる薬の副作用、添付文書の調べ方等	講義・演習	杉田
第15回	まとめ試験	試験	原田

評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 試験 (90 %) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input type="checkbox"/> 演習評価 (%) <input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input checked="" type="checkbox"/> レポート (10 %) <input type="checkbox"/> その他 (%)
------	---

教科書	
参考図書	
留意事項	

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
生活支援技術5	加納 岬 ・ 渡部 師巳	1	1	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

自立に向けた入浴・清潔の保持の意義を知る。自立に向けた身じたくの介護を学ぶ。終末期の介護を知る。さまざまな清潔保持の技法を知る。基本的な入浴・清潔保持の技法を理解する。衣類交換の基本を知る。

◇到達目標

入浴・清潔保持の技法を習得する。利用者の状況に応じた介護技法を理解する。
身じたくの基本を理解し、適切な介護方法を習得する。終末期における介護の意義を学ぶ

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	入浴の意義・入浴の介助方法	講義・演習	加納
第2回	入浴介助 一般浴・特殊浴	講義・演習	加納
第3回	入浴介助 一般浴・特殊浴	講義・演習	加納
第4回	身じたくの意義と目的	講義・演習	加納
第5回	衣服の着脱 座位での一部介助・全介助	講義・演習	加納
第6回	衣服の着脱 ベッド上での一部介助・全介助	講義・演習	加納
第7回	全身清拭	講義・演習	加納
第8回	全身清拭	講義・演習	加納
第9回	整容について 髷法とは	講義・演習	加納
第10回	洗髪の意義、実技マニュアル説明	講義・演習	渡部
第11回	洗髪の介助実習、まとめ	講義・演習	渡部
第12回	足浴・手浴の介助	講義・演習	加納
第13回	寝衣の介助 終末期の介護	講義・演習	加納
第14回	寝衣の介助	講義・演習	加納
第15回	試験	試験	加納

評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 試験 (100 %) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input type="checkbox"/> 演習評価 (%) <input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input type="checkbox"/> レポート (%) <input type="checkbox"/> その他 (%)
------	--

教科書	介護福祉士養成講座 第7巻 生活支援技術Ⅱ(中央法規出版)
参考図書	
留意事項	

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
生活支援技術 6	加納 岬	1	1	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

自立した生活支援に向けて障害に応じた支援方法や、利用者の状態・状況に応じた介助方法を知る。
 さまざまな障害に応じた介護方法の習得や障害に対するアセスメント能力を学ぶ。
 内部障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援を学び、介護の注意点を理解する

◇到達目標

利用者の障害に対して、基本から応用に展開できる介護技法を理解する。
 内部障害の特性を理解した、その方らしい日常生活が送れるような介護方法を身に付ける

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	視覚障害に応じた介護	講義・演習	
第2回	視覚障害に応じた介護 聴覚障害に応じた介護	講義・演習	
第3回	聴覚障害に応じた介護	講義・演習	
第4回	言語障害に応じた介護	講義・演習	
第5回	内部障害に応じた介護 心臓・呼吸機能障害機能障害に応じた介護	講義・演習	
第6回	呼吸・腎臓・膀胱・直腸機能障害に応じた介護	講義・演習	
第7回	膀胱・直腸・小腸機能障害に応じた介護	講義・演習	
第8回	免疫機能障害・肝臓機能障害に応じた介護	講義・演習	
第9回	肝臓機能障害に応じた介護	講義・演習	
第10回	褥瘡予防、安楽な体位とは	講義・演習	
第11回	安楽な体位とは	講義・演習	
第12回	歩行のための福祉用具	講義・演習	
第13回	杖歩行の介助	講義・演習	
第14回	まとめ	講義・演習	
第15回	試験		

評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 試験 (100 %) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input type="checkbox"/> 演習評価 (%) <input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input type="checkbox"/> レポート (%) <input type="checkbox"/> その他 (%)
------	---

教科書	介護福祉士養成講座 第6巻 生活支援技術Ⅰ(中央法規出版) 配布資料 介護福祉士養成講座 第8巻 生活支援技術Ⅲ(中央法規出版) 配布資料
参考図書	
留意事項	

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
生活支援技術7	藤田 圭子	1	1	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

高齢者や障がい者に対する食事の注意点や調理の工夫を学び、栄養バランスの整った食事作りについて知識を深める

◇到達目標

高齢者や障がい者の咀嚼、嚥下レベルに合わせた調理の工夫について理解し、低栄養の予防や疾病の重症化予防のために必要な知識を身につける

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	調理の工夫、衛生について、基本の切り方	講義	
第2回	調理実習	実習	
第3回	咀嚼困難時の調理の工夫	講義	
第4回	調理実習	実習	
第5回	嚥下困難時の調理の工夫	講義	
第6回	調理実習	実習	
第7回	貧血、骨粗鬆症予防について	講義	
第8回	調理実習	実習	
第9回	高血圧について	講義	
第10回	調理実習	実習	
第11回	糖尿病について	講義	
第12回	調理実習	実習	
第13回	低栄養、フレイル予防について	講義	
第14回	調理実習	実習	
第15回	試験	筆記試験	

評価方法	■試験 (100 %)	□実技試験 (%)	□演習評価 (%)
	□小テスト (%)	□レポート (%)	□その他 (%)

教科書	プリント配付
参考図書	
留意事項	予習・復習すること

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
介護過程 1	吉末 高久 ・ 澤浦 知子	1	2	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

様々な科目で学習した知識や技術を統合して、介護過程とは何かを学ぶ。
また生活課題の分析を行い、根拠に基づく介護実践を伴う課題解決ができる能力を養う基礎を学習する。

◇到達目標

介護過程とは何かを知る。
介護過程の前提となる考え方(本人の望む生活の実現には何が必要か)を理解する。
情報収集から計画の立案と実施・評価までの一連の流れを理解する。
アセスメントの方法を学ぶ。情報の収集と分析の方法を学ぶ。

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	介護過程とは①意義・目的	講義	吉末
第2回	介護過程とは②介護過程の全体像	講義	吉末
第3回	介護過程とは③介護過程における事例検討・事例研究の必要性	講義	吉末
第4回	介護過程の理解①介護過程の展開	講義	吉末
第5回	介護過程の理解②アセスメント(情報収集)	講義	吉末
第6回	介護過程の理解③アセスメント(解釈・関連づけ・統合化1)	講義	吉末
第7回	介護過程の理解④アセスメント(解釈・関連づけ・統合化2)	講義	吉末
第8回	介護計画の立案	講義	吉末
第9回	介護の実施・評価	講義	吉末
第10回	試験	筆記試験	吉末
第11回	アセスメントの方法(原因を考える)	講義・演習	澤浦
第12回	アセスメントの方法(見通しを考える)	講義・演習	澤浦
第13回	介護過程の展開方法(ビデオ教材)	演習	澤浦
第14回	介護過程の展開方法(ビデオ教材) グループワーク	講義・演習	澤浦
第15回	情報収集の方法 フェイスシート(現病歴・既往歴・症状・障害の把握)	講義・演習	澤浦

評価方法	■試験 (80 %)	□実技試験 (%)	□演習評価 (%)
	■小テスト (20 %)	□レポート (%)	□その他 (%)

教科書	新・介護福祉士養成講座 第9巻 介護過程 (中央法規出版)
参考図書	
留意事項	

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
介護過程 2	澤浦 知子	1	2	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

事例を用いて、ニーズを把握するためのアセスメントを行い自立支援に基づく介護計画を立案する。

◇到達目標

利用者を主体とした生活援助を行うことができる能力を身につける。利用者を理解するために情報収集を行い、分析し生活課題を把握できる。生活課題を解決・充足するための個別援助計画を立案できる。

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	事例1 フェイスシートを用いて 利用者の概要を理解する	演習	
第2回	アセスメントシートを用いて 情報の分析をする	演習	
第3回	アセスメントシートを用いて 情報の分析をする	演習	
第4回	アセスメントシートを用いて 生活課題を把握する	演習	
第5回	アセスメントシートを用いて 生活課題を把握する	演習	
第6回	発表 グループ討論	演習	
第7回	個別援助計画を立案する	演習	
第8回	個別援助計画を立案する	演習	
第9回	個別援助計画を立案する	演習	
第10回	事例2 フェイスシートを用いて 利用者の概要を理解する	演習	
第11回	アセスメントシートを用いて 情報の分析をする	演習	
第12回	アセスメントシートを用いて 情報の分析をする	演習	
第13回	アセスメントシートを用いて 生活課題を把握する	演習	
第14回	介護目標と個別援助計画を立案する	演習	
第15回	介護目標と個別援助計画を立案する	演習	

評価方法	<input type="checkbox"/> 試験 (%) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input checked="" type="checkbox"/> 演習評価 (100 %)
	<input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input type="checkbox"/> レポート (%) <input type="checkbox"/> その他 (%)

教科書	介護過程 (中央法規出版)
参考図書	
留意事項	

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
介護総合演習 1	原田 佳枝	1	2	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

実習に対する心構えや技術の確認・実習後のまとめを通して介護福祉士としての知識・技術を深める。実習前に各施設種別の特徴や動機付け・技術確認を行い、介護実習の目標・課題を達成できるようにする。実習中の問題点の整理・課題解決・実習後のまとめを通して次回への展開を行えるようにする。

◇到達目標

介護実習の意義・目的・課題を理解する。
居宅・通所・入所・介護分野での理解と介護福祉士としての役割の明確化ができる。

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	介護実習の意義と目的 今後の介護実習について	講義	
第2回	介護実習 I-1 デイサービス・デイケアについて	講義・演習	
第3回	個人票の書き方と個人票の作成	講義・演習	
第4回	I-1 個人票の作成	講義・演習	
第5回	I-1 実習について	講義・演習	
第6回	多職種連携を考える	講義・演習	
第7回	多職種連携を考える	講義・演習	
第8回	実習記録とは 実習記録の書き方	講義・演習	
第9回	介護実習 I-報告会	講義・演習	
第10回	介護実習 I-2 障害者支援施設について 特別講義	演習	
第11回	記録のまとめ方 振り返り	講義・演習	
第12回	I-2 障害者支援施設について	講義・演習	
第13回	I-2 個人票の作成	講義・演習	
第14回	実習ファイルの作成 実習に対する注意事項	演習	
第15回	まとめ介護実習 I-2 障害者支援施設について	演習	

評価方法	<input type="checkbox"/> 試験 (%) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input checked="" type="checkbox"/> 演習評価 (50 %)
	<input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input checked="" type="checkbox"/> レポート (50 %) <input type="checkbox"/> その他 (%)

教科書	新・介護福祉士養成講座 第10巻 介護総合演習・介護実習(中央法規出版) 配布資料
参考図書	
留意事項	

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
介護総合演習 2	原田 佳枝	1	2	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

実習に対する心構えや技術の確認・実習後のまとめを通して介護福祉士としての知識・技術を深める。実習前に各施設種別の特徴や動機付け・技術確認を行い、介護実習の目標・課題を達成できるようにする。実習中の問題点の整理・課題解決・実習後のまとめを通して次回への展開を行えるようにする。

◇到達目標

介護実習の意義・目的・課題を理解する。
居宅・通所・入所・介護分野での理解と介護福祉士としての役割の明確化ができる。

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	実習 I-2 まとめ	講義・演習	
第2回	実習 I-2 報告会	演習	
第3回	実習 I-3・4について 小規模多機能 認知症対応型共同生活介護とは	講義	
第4回	小規模多機能、グループホームの理解 認知症の方への対応の考察	講義・演習	
第5回	小規模多機能型居宅介護・認知症対応型共同生活介護とは 特別講義	講義・演習	
第6回	個人票の作成	講義・演習	
第7回	個人票の作成	講義・演習	
第8回	高齢者の外出やイベントについての学び	演習	
第9回	高齢者の外出やイベントについての学び	演習	
第10回	実習ファイルの作成 実習に対する注意事項	講義・演習	
第11回	実習の I-3 まとめ	講義・演習	
第12回	実習の I-4 まとめ	講義・演習	
第13回	実習 I-3、4 報告会のまとめ	演習	
第14回	実習 I-4 報告会	演習	
第15回	1年間の振り返り	演習	

評価方法	<input type="checkbox"/> 試験 (%) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input checked="" type="checkbox"/> 演習評価 (50 %)
	<input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input type="checkbox"/> レポート (50 %) <input type="checkbox"/> その他 (%)

教科書	新・介護福祉士養成講座 第10巻 介護総合演習・介護実習(中央法規出版) 配布資料
参考図書	
留意事項	

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
発達と老化1	澤浦 知子・小林 玲子	1	2	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

小児期から老年期における成長と発達についての基本的理解・各発達段階についての課題を学習する。
 高齢者の健康、健康長寿について学ぶ
 高齢者の疾患・症状の特徴を学ぶ

◇到達目標

成長と発達について一連の流れを理解し、各発達段階における課題を述べることができる。
 老化に伴う機能低下と日常生活への影響とその予防方法が理解できる。
 高齢者の健康維持のための支援に必要な知識を身につける。

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	人間の成長と発達の基礎的理解 【1】～成長・発達の法則を中心に～	講義	小林
第2回	人間の成長と発達の基礎的理解 【2】～様々な発達理論を中心に～	講義	小林
第3回	発達理論（1）～ピアジェ～	講義	小林
第4回	発達理論（2）～エリクソン・バルテス～	講義	小林
第5回	各発達段階の概要	講義・GW	小林
第6回	発達段階別にみた身体的成長と発達	講義	小林
第7回	発達段階別にみた社会的成長と発達	講義・GW	小林
第8回	健康長寿・高齢者の健康	講義	澤浦
第9回	高齢者の疾患・症状の特徴 廃用症候群と生活支援上の留意点	講義	澤浦
第10回	高齢者に多い疾患 骨格・関節疾患と生活支援上の留意点	講義	澤浦
第11回	高齢者に多い疾患 脳・神経疾患と生活支援上の留意点	講義	澤浦
第12回	高齢者に多い疾患 高血圧 動脈硬化と生活支援上の留意点	講義	澤浦
第13回	高齢者に多い疾患 脳血管疾患・虚血性心疾患と生活支援上の留意点	講義	澤浦
第14回	高齢者に多い疾患 糖尿病と生活支援上の留意点	講義	澤浦
第15回	試験		澤浦・小林

評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 試験（ 100 %） <input type="checkbox"/> 実技試験（ %） <input type="checkbox"/> 演習評価（ %） <input type="checkbox"/> 小テスト（ %） <input type="checkbox"/> レポート（ %） <input type="checkbox"/> その他（ %）
------	--

教科書	発達と老化の理解（中央法規）生活支援技術Ⅲ（中央法規）
参考図書	
留意事項	授業前には当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義後は授業のポイント等をノートにまとめるなど復習しておくこと。

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
認知症の理解1	岡田 律	1	2	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

認知症に関する基礎的知識として、認知症とは何か、認知症の原因疾患と症状及び生活障害や認知症の予防について理解し、個々の認知症の人(当事者)への的確なケアを提供できるための知識について学ぶ

◇到達目標

認知症の原因となる病気やその症状、生活障害、また予防について学び、認知症当事者の体験や支える支援者についても理解できる

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	認知症とは何か 認知症の定義を知る	講義	
第2回	脳のしくみ 老化にともなう脳の変化	講義	
第3回	認知症の人の心理を理解する	講義	
第4回	中核症状の理解	講義	
第5回	BPSD(行動・心理症状)の理解	講義	
第6回	認知症の原因疾患(アルツハイマー型・血管性)	講義	小テスト①
第7回	認知症の原因疾患(レビー小体型・前頭側頭型)	講義	
第8回	治療可能な認知症(正常圧水頭症 他)	講義	小テスト②
第9回	生活障害の理解 若年性認知症 MCI	講義	
第10回	認知症の診断 重症度の評価	講義	小テスト③
第11回	薬物療法と非薬物療法	講義	
第12回	認知症の予防	講義	
第13回	認知症を取り巻く状況 これまで—今—これから	講義	
第14回	認知症当事者から見えるもの	講義	DVD
第15回	試験	筆記試験	

評価方法	■試験 (80 %)	□実技試験 (%)	□演習評価 (%)
	■小テスト (20 %)	□レポート (%)	□その他 (%)

教科書	最新 介護福祉士養成講座 13「認知症の理解」第3版 中央法規
参考図書	講義中適宜紹介
留意事項	予習、復習すること

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
障害の理解 1	小林 玲子	1	2	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

<p>(1) 障害の捉え方や障害福祉諸制度における障害者の法的定義などの基礎的知識を理解する。 (2) 障害のある人とその介護者家族への生活支援のあり方について下記の2つを視점에学習する。 ①障害特性の理解 ②心理面、生活面、社会面からの理解</p>

◇到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害に関する基礎的知識を説明できる。 ・ 障害のある人の生活支援について心理面・生活面・社会面から多面的に理解できる。 ・ 介護者家族への支援を説明できる。
--

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	障害の基礎的理解 (授業の導入)	講義・演習	
第2回	障害をどう捉えるか (1) ～障害の定義～	講義	
第3回	障害をどう捉えるか (2) ～ICFの考え方を中心に～	講義	
第4回	障害者福祉の基本的理念 (1) ～ノーマライゼーション・リハビリテーション・インクルージョン～	講義	
第5回	障害者の基本的理念 (2) ～国際障害者年・障害者権利条約～	講義	
第6回	視覚障害の基礎的理解とその特性に応じた支援	講義	
第7回	聴覚・言語障害の基礎的理解とその特性に応じた支援	講義・演習	
第8回	知的障害の基礎的理解とその特性に応じた支援	講義・演習	
第9回	精神障害の基礎的理解とその特性に応じた支援	講義	
第10回	肢体不自由の基礎的理解とその特性に応じた支援	講義	
第11回	介護者家族支援の現状と支援の基本的視点	講義	
第12回	他職種連携と地域におけるサポート体制について	講義	
第13回	障害者福祉に関連する制度	講義	
第14回	障害者福祉制度と介護保険制度	講義	
第15回	試験		

評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 定期試験 (100 %) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input type="checkbox"/> 演習評価 (%) <input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input type="checkbox"/> レポート (%) <input type="checkbox"/> その他 (%)
------	---

教科書	障害の理解；中央法規
参考図書	
留意事項	授業前には当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義後は授業のポイント等をノートにまとめるなど復習しておくこと。

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
こころのしくみ	曾谷 美華	1	2	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

日常生活の中での人のこころの動きについて考えるための基礎的概念を学ぶ
心理学の諸理論に基づいて、介護福祉現場での実践を着想できるようになることを目指す

◇到達目標

心理学の基礎的な用語について説明することができる
心理学的視点から、介護福祉の現場でどのように考え、動くかを着想できる

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	ガイダンス	講義	
第2回	脳の機能	講義	
第3回	学習の諸理論	講義	
第4回	記憶	講義	
第5回	思考と感情	講義	
第6回	精神障害	講義	
第7回	欲求と動機	講義	
第8回	適応	講義	
第9回	性格の理論と測定	講義	
第10回	発達 of 諸理論の概観	講義	
第11回	エリクソンのライフサイクル論	講義	
第12回	心理療法の概観	講義	
第13回	臨床心理学的視座から事例を考える	講義	
第14回	まとめ	講義	
第15回	試験	試験	

評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 試験 (50 %) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input type="checkbox"/> 演習評価 (%) <input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input type="checkbox"/> レポート (%) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (毎回のワークへの取り組み 50%)
------	---

教科書	特になし (プリント配布)
参考図書	『最新 介護福祉士養成講座 11 こころとからだのしくみ』 『最新 介護福祉士養成講座 14 障害の理解』
留意事項	予習・復習すること

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
からだのしくみ1	澤浦 知子	1	3	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

- ・人体の構造・機能の基本を学ぶ
- ・疾病の発生のメカニズムを学ぶ
- ・心身の機能低下や障害が生活に及ぼす影響、変化に対する観察のポイントを学ぶ。

◇到達目標

- ・疾病の予防の視点を身につけ、健康を意識した支援に繋げる。
- ・介護実践に必要な観察力・判断力を培う。
- ・医療職と連携できる能力を養う。

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	からだの各部位の名称	講義	
第2回	からだの成り立ちの理解	講義	
第3回	移動のしくみ 姿勢の種類	講義	
第4回	骨・関節のしくみ	講義	
第5回	筋肉のしくみ	講義	
第6回	歩行と移動	講義	
第7回	機能低下と廃用症候群	講義	
第8回	食事のしくみ 栄養と水分	講義	
第9回	口腔から食道までのしくみ	講義	
第10回	嚥下運動	講義	
第11回	機能低下 誤嚥	講義	
第12回	脱水	講義	
第13回	排泄のしくみ	講義	
第14回	消化管のしくみ 胃 小腸のしくみ	講義	
第15回	肝臓と膵臓の役割	講義	
第16回	排便のしくみ 大腸のしくみ	講義	
第17回	腎臓のしくみ	講義	
第18回	膀胱のしくみと排尿	講義	
第19回	尿失禁	講義	
第20回	脳と神経のしくみ	講義	
第21回	自律神経のしくみ	講義	
第22回	総復習	講義	

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

第23回	試験	筆記試験	
------	----	------	--

評価方法	■試験 (100 %)	□実技試験 (%)	□演習評価 (%)
	□小テスト (%)	□レポート (%)	□その他 (%)

教科書	こころとからだのしくみ (中央法規)
参考図書	
留意事項	予習復習をすること

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
からだのしくみ2	安永 龍子	1	3	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

- ・人体の構造・機能を学ぶ
- ・生活支援の場面に応じたところとからだのしくみについて学ぶ
- ・心身の機能低下や障害が生活に及ぼす影響について学ぶ
- ・変化に対する観察ポイントや医療職との連携のポイントを学ぶ

◇到達目標

- ・人体の構造・機能について説明できる
- ・生活支援の場面に応じたところとからだのしくみについて説明できる
- ・心身の機能低下や障害が生活に及ぼす影響について説明できる
- ・変化に対する観察ポイントや医療職との連携のポイントについて説明できる

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	心臓の構造と機能	講義	
第2回	肺の構造と機能	講義	
第3回	身じたくに関連したところのしくみ 身じたくの意義	講義	
第4回	頭部・顔面のしくみ 眼・耳・鼻の構造と機能	講義	
第5回	爪・毛髪・口腔の構造と機能 口臭と洗顔のしくみ	講義	
第6回	心身の機能低下が身じたくに及ぼす影響	講義	
第7回	身じたくの観察ポイントと対応 医療職との連携のポイント	講義	
第8回	入浴・清潔保持に関連したところのしくみ	講義	
第9回	入浴・清潔保持に関連したからだのしくみ	講義	
第10回	心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響	講義	
第11回	入浴・清潔保持における観察のポイントと対応	講義	
第12回	入浴・清潔保持における医療職との連携のポイント	講義	
第13回	休息・睡眠に関連したところとからだのしくみ	講義	
第14回	睡眠の質を高める環境条件や生活習慣	講義	
第15回	休息・睡眠に影響を及ぼす心身機能の低下	講義	
第16回	睡眠障害や睡眠不足が及ぼす影響	講義	
第17回	睡眠での観察のポイント 医療職との連携のポイント	講義	
第18回	人生の最終段階に関連する「死」のとらえ方	講義	
第19回	終末期（ターミナル期）・「死」に対するところの変化	講義	
第20回	終末期から危篤状態	講義	
第21回	死後のからだの理解	講義	

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

第22回	終末期における医療職との連携	講義	
第23回	試験	筆記試験	

評価方法	■試験 (80 %)	□実技試験 (%)	□演習評価 (%)
	■小テスト (20 %)	□レポート (%)	□その他 (%)

教科書	介護福祉士養成講座 11 こころとからだのしくみ
参考図書	
留意事項	事前に教科書を読んで学習しておくこと

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
医療的ケア1	澤浦 知子 ・ 吉末 高久	1	2	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアと医行為について理解した上で、介護福祉士が医療的ケアを担うことになった背景を知り、介護福祉士としての役割及び安全・安楽なケアについて学習を深める。 ・救急蘇生について理解し、心肺蘇生法の基礎知識及び手技を習得する。 ・健康状態を把握するための観察法とバイタルサインの測定法を習得する。
--

◇到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・医行為とは何か、その法的解釈について理解し、介護福祉士等による喀痰吸引等制度と介護福祉士が実施する医療的ケアについて述べるができる。 ・健康状態を適切に把握し、利用者の急変に気づく能力を身につける。 ・救急蘇生について理解し、心肺蘇生を正しく実施することができる。

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	医療的ケアとは、医行為について	講義	吉末
第2回	喀痰吸引等制度～社会福祉士及び介護福祉士法の改正について～	講義	吉末
第3回	医療的ケアと喀痰吸引等の背景、その他の制度について	講義	吉末
第4回	安全な療養生活～喀痰吸引や経管栄養の安全な実施～	講義	吉末
第5回	健康状態を知る項目	講義	澤浦
第6回	バイタルサインとは 体温	講義	澤浦
第7回	バイタルサインとは 脈拍と血圧	講義・演習	澤浦
第8回	バイタルサインとは 呼吸	講義・演習	澤浦
第9回	体温 脈拍 呼吸の測定法	演習	澤浦・吉末
第10回	血圧の測定法	演習	澤浦・吉末
第11回	急変状態とその対応、日頃の準備	演習	澤浦・吉末
第12回	安全な療養生活～救急蘇生～	講義	吉末
第13回	心肺蘇生法	演習	澤浦・吉末
第14回	心肺蘇生法（見極め含む）	演習	澤浦・吉末
第15回	試験	試験	

評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 試験（ 100 %） <input type="checkbox"/> 実技試験（ %） <input type="checkbox"/> 演習評価（ %） <input type="checkbox"/> 小テスト（ %） <input type="checkbox"/> レポート（ %） <input type="checkbox"/> その他（ %）
------	---

教科書	医療的ケア（中央法規）
参考図書	
留意事項	授業前には当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義後は授業のポイント等をノートにまとめるなど復習しておくこと。

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	単位数	開講期	種別
福祉レクリエーション	中西 信之 橋本 和典 ・ 梶本 佳史	1	1	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

日本レクリエーション協会で示された学習内容に基づき、レクリエーション活動の意義と支援者としての役割を学ぶ (レクリエーションインストラクター資格取得科目 課程認定校資格取得に付きその他必要要件あり)
 パラスポーツを理解し、障がい者のスポーツを学ぶ (パラスポーツ初級指導員 資格取得科目 課程認定校に付きその他必要要件あり)

◇到達目標

レクリエーション活動の意義を理解し、福祉社会でのレクリエーションのあり方を理解する
 介護従事者としてパラスポーツの関わり方を理解する

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	オリエンテーション はじめまして (レク支援の方法)	講義・演習	中西
第2回	レクリエーションの理解とアイスブレイキング (レク支援の方法)	講義・演習	中西
第3回	レクリエーションとは (レクリエーション概論)	講義・演習	中西
第4回	集団心理の特性とレクリエーション (楽しさと心の元気づくり)	講義・演習	中西
第5回	福祉の中のレクリエーション (レクリエーション概論)	講義・演習	中西
第6回	生活のレク化とレクの生活化 (楽しさと心の元気づくり)	講義・演習	中西
第7回	手先を使ったレク (レク支援の方法) レクサポーター研修	講義・演習	中西
第8回	うたを使ったレク (レク支援の習得) レクサポーター研修	講義・演習	中西
第9回	レクリエーション現場演習	講義・演習	中西
第10回	障害者スポーツの意義と理念全国障害者スポーツ大会の概要 (レク概論・レク支援)	講義	橋本
第11回	障害者スポーツに関する諸施策と取り組み (レク概論・レク支援)	講義・演習	橋本
第12回	障害の理解と障害者スポーツとその関わり (レク概論・レク支援)	講義・演習	梶本
第13回	スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質 (レク支援の方法)	講義	中西
第14回	コミュニケーションの基本 (レク活動の習得)	講義・演習	中西
第15回	障害者との交流 (パラスポーツディ参加) (レク活動の習得)	演習	橋本

評価方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 (%) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input checked="" type="checkbox"/> 演習評価 (100%)
	<input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input type="checkbox"/> レポート (%) <input type="checkbox"/> その他 (%)

教科書	なし
参考図書	楽しさを通じた心と体の元気づくり レクリエーション支援の基礎 一部冊子あり
留意事項	資格取得科目に付きレクリエーション現場実習あり パラスポーツ初級指導員取得科目 (資格は最終学年に卒業見込み者)

(別表5-①)

介護福祉学科 教育課程(令和7年度以前入学の方)

領域	教育内容	科目	授業形態	第1年次		第2年次		時間数	
				前期	後期	前期	後期		
人間と社会	人間の尊厳と自立	人間の尊厳と自立	講義	30				30	
	人間関係とコミュニケーション	人間関係とコミュニケーション	講義		30			30	
		レクリエーションワーク	講義・演習		30			30	
	社会の理解	社会の理解1	講義		30			30	
		社会の理解2	講義		30			30	
		社会の理解3	講義		30			30	
	人間と社会に関する選択科目	地域福祉	講義・演習			30		30	
情報処理		演習		30			30		
	小計			30	180	30	0	240	
介護	介護の基礎	基礎介護総論1	講義	30				30	
		基礎介護総論2	講義・演習		30			30	
		基礎介護1	講義	30				30	
		基礎介護2	講義	20				20	
		基礎介護3	講義・演習	30				30	
		基礎介護4	講義・演習				30	30	
	基礎介護5	講義・演習				12	12		
	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術1	講義	10	20			30	
		コミュニケーション技術2	講義・演習			30		30	
	生活支援技術	生活支援技術1	講義・演習	30				30	
		生活支援技術2	講義・演習	20				20	
		生活支援技術3	講義・演習	30				30	
		生活支援技術4	講義・演習		20			20	
		生活支援技術5	講義・演習		30			30	
		生活支援技術6	講義・演習		30			30	
		生活支援技術7	講義・演習				20	20	
		生活支援技術8	講義・演習			30		30	
		生活支援1	講義・演習	20				20	
		生活支援2	講義・演習		30			30	
	介護過程	生活支援3	講義・演習			20		20	
		生活支援4	講義・演習			20		20	
		介護過程1	講義		30			30	
		介護過程2	講義・演習		30			30	
	介護総合演習	介護過程3	講義・演習			30		30	
		介護過程4	講義・演習			30		30	
		介護過程5	講義・演習				30	30	
		介護総合演習1	講義・演習	30				30	
		介護総合演習2	講義・演習		30			30	
	介護総合演習	介護総合演習3	講義・演習			30		30	
		介護総合演習4	講義・演習				30	30	
		小計		250	250	252	60	812	
		介護実習	介護実習 I-1	実習		35			35
	介護実習 I-2		実習		35			35	
	介護実習 I-3		実習		35			35	
	介護実習 I-4		実習		35			35	
	介護実習 I-5		実習			21		21	
	介護実習 II-1		実習			133		133	
	介護実習 II-2		実習				161	161	
	小計		0	140	154	161	455		
		小計		250	390	406	221	1267	
	こころとからだのしくみ	発達と老化の理解	発達と老化1	講義		30			30
			発達と老化2	講義			30		30
		認知症の理解	認知症の理解1	講義	30				30
認知症の理解2			講義・演習			30		30	
障害の理解		障害の理解1	講義	30				30	
		障害の理解2	講義			30		30	
こころとからだのしくみ		こころのしくみ	講義		30			30	
	こころとからだ1	講義	45				45		
	こころとからだ2	講義		45			45		
小計		105	105	90	0	300			
医療的ケア	医療的ケア	医療的ケア1	講義・演習		30			30	
		医療的ケア2	講義・演習			38		38	
		医療的ケア演習	演習			20		20	
小計		0	30	58	0	88			
合計			385	705	584	221	1895		
選択科目	福祉レクリエーション	福祉レクリエーション	講義・演習	18				18	
		障害者スポーツ	講義・演習	12				12	
		小計		30	0	0	0	30	
総計			415	705	584	221	1925		

(注) 各科目の履修認定は履修時間とする。但し介護実習に付き、各々定められた施設での実習時間を以て履修とする

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	時間数	開講期	種別
地域福祉	福井 敦子・菅 昌生 奈良市社会福祉協議会	2	30	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

<p>[福井] 国の施策が施設福祉から在宅福祉・地域包括ケアに舵がきられる中、地域の中で貢献できる人材育成の観点から地域福祉の理解を深める</p> <p>[社協] 社会福祉協議会が行う地域福祉実践を学ぶ</p>

◇到達目標

<p>[福井] 地域福祉の必要性を理解し、方法や実践力を身に付ける</p> <p>[社協] 社協活動や関連諸制度を学ぶことを通じて、受講者自身が地域共生社会の実現に向けてできることを考え、実践することの必要性を知る</p>

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	社会福祉協議会について	講義	奈良市社協 総務課
第2回	みどりの家 見学	講義・演習	奈良市社協 北地域福祉課
第3回	みどりの家 見学	講義・演習	奈良市社協 北地域福祉課
第4回	南福祉センター 見学	講義・演習	奈良市社協 南地域福祉課
第5回	南福祉センター 見学	講義・演習	奈良市社協 南地域福祉課
第6回	地域密着型施設の紹介 地域とは	講義・演習	福井
第7回	地域福祉の目的 高齢者と地域	講義・演習	福井
第8回	地域福祉の実現に向けて 個別支援の方法	講義・演習	福井
第9回	地域支援 コミュニティワークの方法	講義・演習	福井
第10回	認知症サポーター養成講座 [DVD 使用]	講義・演習	福井
第11回	若年性認知症の人を地域で支える	講義・演習	福井
第12回	「若年性認知症サポートセンター絆や」の取り組み	講義・演習	福井・菅
第13回	将来どの様な方法で地域支援を行っていくか	講義・演習	福井
第14回	施設等から地域に発信するポスター作り	講義・演習	福井
第15回	テスト	筆記試験	原田

評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 試験 (95 %) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input type="checkbox"/> 演習評価 (%) <input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input type="checkbox"/> レポート (%) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (受講態度 5 %)
------	---

教科書	適宜プリント配付
参考図書	よくわかる地域福祉
留意事項	予習、復習をすること

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	時間数	開講期	種別
基礎介護4	石川 大・田中 研志 齊藤 里恵・吉本 美枝・樋口 ひとみ 西村 明浩・吉岡 智美・中西 信之	2	30	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

多職種連携・チームアプローチのあり方を理解する。地域連携を学び、利用者が安心して生活を過ごすことができるようなサービスや、他職種の役割を理解する。

◇到達目標

多職種の役割を知ることによりチームケアの中核を担う介護福祉士の役割を理解する。
利用者を支えるさまざまな職種の内容や役割・介護福祉士との連携を学ぶ。

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	マナー講座	講義・演習	樋口
第2回	マナー講座	講義・演習	樋口
第3回	マナー講座の実践	講義・演習	樋口
第4回	マナー講座の実践	講義・演習	樋口
第5回	葬祭マナーとは	講義・演習	樋口
第6回	葬祭マナーの実践	講義・演習	樋口
第7回	福祉施設の展開と方法	講義・演習	西村
第8回	ケアマネージャーとの連携	講義・演習	吉岡
第9回	言語聴覚士との連携	講義・演習	齊藤
第10回	作業療法士との連携	講義・演習	石川
第11回	理学療法士との連携	講義・演習	田中
第12回	口腔ケアとは	講義・演習	吉本
第13回	口腔ケアの実践	講義・演習	吉本
第14回	高齢者とのスポーツ交流	講義・演習	中西
第15回	高齢者とのスポーツ交流	講義・演習	中西 (奈良市レク)

評価方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 (%) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input type="checkbox"/> 演習評価 (%)
	<input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input checked="" type="checkbox"/> レポート (100 %) <input type="checkbox"/> その他 (%)

教科書	介護福祉士養成施設講座 第4巻 介護の基本Ⅱ 配布資料
参考図書	
留意事項	

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	時間数	開講期	種別
基礎介護5	門田 玲子	2	12	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

介護福祉における多様なニーズに対応できるようアロマの基礎知識を学び、その応用として実習を行う
また、アロマ検定に必要な学習を行い、合格を目指す

◇到達目標

介護福祉の現場でアロマの活用や提案ができるよう、それらの知識を身につける

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	アロマセラピー検定2級対応講義 実習：蒸気浴	講義・演習	
第2回	アロマセラピー検定2級対応講義 実習：蒸気浴	講義・演習	
第3回	アロマセラピー基礎知識講義① 実習：重曹クレンザー	講義・演習	
第4回	アロマセラピー基礎知識講義② 実習：ルームフレグランス	講義・演習	
第5回	アロマセラピー基礎知識講義③ 実習：トリートメントオイル	講義・演習	
第6回	実習：ハンドマッサージ まとめ試験	演習・試験	
第7回			
第8回			
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			

評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 試験 (100 %) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input type="checkbox"/> 演習評価 (%) <input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input type="checkbox"/> レポート (%) <input type="checkbox"/> その他 (%)
------	--

教科書	随時プリント配付
参考図書	
留意事項	復習すること

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	時間数	開講期	種別
コミュニケーション技術2	山尾賀洋子・坂下正幸 ND ソフトウェア株式会社 京都市洛南障害者授産所	2	30	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

護場面に於ける利用者・家族とのコミュニケーションについて

〔山尾〕音楽を通じて対象者が楽しみながら健康の維持増進ができ、また対象者とのコミュニケーション作りを図ることができる療法的レクリエーション支援者の養成を目指す

〔坂下〕障がい者・高齢者を対象として音楽ツールを生かした音楽療法を学ぶ

〔ND〕介護 ICT について理解し、ICT を導入することでどのような効果があるかを学ぶ、また将来的に介護のニーズがより高まっていく介護業界で、ICT が人材不足や介護職員の業務負担の軽減になるような方法を理解する。

〔洛南〕授産所利用者による出張講演、障害のある人達の生の声を聴く

◇到達目標

〔山尾〕歌唱・歌遊び・楽器活動等の音楽を中心としたレクリエーションプランの作成から実践までが出来るようになる事を目標とする

〔坂下〕音楽療法の理解と実践力等を習得する

〔ND〕ICT の基礎知識を学ぶ。福祉施設における業務簡素化の視点や、機器の導入方法を理解する。

〔洛南〕授産所利用者の日々の暮らし、障害を抱えて生きる気持ちや悩み等を聴き理解する

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	音楽の持つ特性と効能・春の歌(2月)	講義・演習	山尾
第2回	春の歌(3月・4月)	講義・演習	山尾
第3回	夏の歌(5月・6月)レクリエーション実践の留意点	講義・演習	山尾
第4回	夏の歌(7月)・補習(5月・6月)レクリエーション実践の留意点	講義・演習	山尾
第5回	冬の歌(12月・1月)・ハンドベル実習	講義・演習	山尾
第6回	冬の歌(11月)・秋の歌(8月)	講義・演習	山尾
第7回	秋の歌(9月・10月)	講義・演習	山尾
第8回	実習に向けて(9月・10月の歌)復習・補習・レクプラン作成留意点	講義・演習	山尾
第9回	9月のレクプラン作成(レポート提出)	講義・演習	山尾
第10回	音楽療法 ミュージックケア理解	講義・演習	坂下
第11回	音楽療法 ミュージックケア体験	講義・演習	坂下
第12回	ICT 基礎知識 ICT の全体像・介護機器の種類・ICT 導入のための補助金	講義・演習	ND ソフトウェア
第13回	さまざまな介護機器の体験と活用方法	講義・演習	ND ソフトウェア
第14回	ICT を活用した業務の省略化 介護施設での ICT 化事例と研究結果	講義・演習	ND ソフトウェア
第15回	授産所利用者により講話 ～障害のある人達の生の声を聴こう～	講義・演習	京都市洛南障害者授産所

評価方法	<input type="checkbox"/> 試験 (%) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input type="checkbox"/> 演習評価 (%)
	<input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input checked="" type="checkbox"/> レポート (100%) <input type="checkbox"/> その他 (%)

教科書	介護福祉士養成講座 第5巻 コミュニケーション技術 中央法規 配布資料 「療法的レクリエーション音楽」(山尾賀洋子編著)
参考図書	
留意事項	

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	時間数	開講期	種別
生活支援技術7	松岡 眞美・吉岡 和也 平山 久美・大谷 めぐみ	2	20	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

自立に向けた生活支援を基本として、さまざまな介護方法・生活支援を理解する。
演習を中心に、基本から応用へ適切な介護技法を考える。また、実践ができるようにする。

◇到達目標

A DLに応じた介護技術・生活支援の習得 介護福祉士として必要な知識の習得をする。
個々の生活スタイルや習慣を考えた支援方法を学ぶ

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	有料老人ホームとは	講義	松岡
第2回	有料老人ホームとは	講義・演習	松岡
第3回	車椅子整備について	講義・演習	吉岡
第4回	車椅子整備について	講義・演習	吉岡
第5回	腰痛予防について	講義・演習	吉岡
第6回	腰痛予防の実践 福祉用具の活用	講義・演習	吉岡
第7回	ダンスセラピーとは	講義・演習	平山
第8回	ダンスセラピーとは	講義・演習	平山
第9回	高齢者ヨガとは	講義・演習	大谷
第10回	高齢者ヨガとは	講義・演習	大谷
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			

評価方法	<input type="checkbox"/> 試験 (%) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input type="checkbox"/> 演習評価 (%) <input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input checked="" type="checkbox"/> レポート (100%) <input type="checkbox"/> その他 (%)
------	---

教科書	介護福祉士養成講座 第4巻 介護の基本Ⅱ 介護福祉士養成講座 第7巻 生活支援技術Ⅱ 配布資料
参考図書	
留意事項	

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	時間数	開講期	種別
生活支援技術8	仲田 聡美・大崎 昌美 熊井 利将・中西 信之	2	30	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

自立に向けた生活支援について

様々なケアの方法を通して自立に向けた生活支援を理解する
 スポーツレクリエーション指導者資格取得科目
 最新の介護の情報を得て、自分自身で考える介護について確立する

◇到達目標

様々なケアツールを通してコミュニケーションの方法や自立した生活支援の方法を習得する
 介護福祉士としてのあり方を考えあるべき姿について考察する

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	フットケアについての基本 高齢者にとってのフットケアとは	講義	大崎
第2回	フットケアの注意点を考えながらの実技	講義・演習	大崎
第3回	排泄介護の考え方	講義	熊井
第4回	おむつの選び方、考え方	講義	熊井
第5回	事例に応じた排泄介護	演習	熊井
第6回	事例に応じた排泄介護 排泄介護を考える	演習	熊井
第7回	訪問介護の仕組みと実際	講義	仲田
第8回	スポーツレクリエーション概論	講義・演習	中西
第9回	スポーツレクリエーション生理学	講義・演習	中西
第10回	スポーツレクリエーション心理学	講義・演習	中西
第11回	スポーツレクリエーション参加促進法	講義・演習	中西
第12回	継続のための場づくり	講義・演習	中西
第13回	動機付けの支援技術演習	講義・演習	中西
第14回	動機付けの支援技術（レク式体力チェック）	講義・演習	中西
第15回	スポーツレクリエーション演習	講義・演習	中西

評価方法	<input type="checkbox"/> 試験（ %）	<input type="checkbox"/> 実技試験（ %）	<input type="checkbox"/> 演習評価（ %）
	<input type="checkbox"/> 小テスト（ %）	<input checked="" type="checkbox"/> レポート（ 100 %）	<input type="checkbox"/> その他（ %）

教科書	なし
参考図書	適宜配布
留意事項	課程認定校に付き資格取得ができる

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	時間数	開講期	種別
生活支援3	京都府介護福祉士会 (木村美由紀・波多野裕子・中村朋子)	2	20	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

家事の重要性について学び、介護保険制度の中でできる家事支援を学ぶ

◇到達目標

家事支援の基本となる知識と技術を学び、実践に活用できる
利用者の望む生活のための家事支援を行う視点を持つ

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	家事の重要性と介護保険制度の中でできる範囲を理解する	講義	波多野
第2回	裁縫の基礎、意味、目的について用具、用途を理解する	講義	木村
第3回	手縫いの基本、玉結び、玉止め、直線縫い、まつり縫い、ボタン付け	実習	木村
第4回	裁縫の学んだ技術を活用して作品を作る	演習	木村
第5回	裁縫の学んだ技術を活用して作品を作る	演習	木村
第6回	衣類、寝具の衛生管理 整理整頓の方法について	講義・演習	波多野
第7回	掃除、買い物の方法と支援の仕方について	講義・演習	波多野
第8回	洗濯の意義、介助方法に関して理解を深める	講義	中村
第9回	しみ抜きについて学び、実践体験をしている	演習	中村
第10回	基本的な家事の介護の理解度テストを行う	筆記試験	木村
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			

評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 試験 (70 %) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input checked="" type="checkbox"/> 演習評価 (30 %) <input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input type="checkbox"/> レポート (%) <input type="checkbox"/> その他 (%)
------	--

教科書	随時プリント配付
参考図書	初任者研修テキスト
留意事項	

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	時間数	開講期	種別
生活支援4	浦富 優莉奈・佐渡 仁美 加藤 貴久	2	20	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

自立に向けた生活支援を基本として、さまざまな介護方法・生活支援を理解する。
演習を中心に生きがいや、日々の生活に役割を持つことができる支援技法を考える。
介護保険制度に関する知識、障害者総合支援法を中心とした障がい福祉制度、
社会保障(介護保険、障がい福祉制度)以外

◇到達目標

ADLに応じた生活支援の習得 介護福祉士として必要な知識を習得する。
介護福祉士国家試験の合格レベルの知識の獲得
不明な知識を自ら調べることで、難解文章を読み解く技術の獲得

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	ネイルケアとは	講義・演習	佐渡
第2回	ネイルケアとは	講義・演習	佐渡
第3回	ネイルケアの実践	講義・演習	佐渡
第4回	ネイルケアの実践	講義・演習	佐渡
第5回	メイクケアとは	講義・演習	浦富
第6回	メイクケアとは	講義・演習	浦富
第7回	メイクケアの実践	講義・演習	浦富
第8回	メイクケアの実践	講義・演習	浦富
第9回	社会保障を取り巻く環境と社会保険に関する知識	講義	加藤
第10回	介護保険制度、障がい福祉制度に関する知識	講義	加藤
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			

評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 試験 (20 %) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input type="checkbox"/> 演習評価 (%) <input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input checked="" type="checkbox"/> レポート (80 %) <input type="checkbox"/> その他 (%)
------	---

教科書	配布資料
参考図書	見て覚える！介護福祉士国試ナビ
留意事項	

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	時間数	開講期	種別
介護過程 3	澤浦 知子	2	30	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

・事例を用いてアセスメントから評価までの思考過程を学ぶ。
 ・事例を用い、食事 排泄 清潔 移動 コミュニケーション 生きがい 役割などを多面的・総合的に分析し、個別援助計画を立案する。

◇到達目標

専門知識・技術を根拠とした客観的で科学的な思考過程による介護過程の展開能力を身につける。

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	事例 3 フェイスシート	演習	
第2回	事例 3 アセスメントシート 情報収集と分析	講義 演習	
第3回	事例 3 アセスメントシート 情報収集と分析	演習	
第4回	事例 3 個別援助計画	講義 演習	
第5回	事例 3 個別援助計画	演習	
第6回	事例 4 フェイスシート	演習	
第7回	事例 4 アセスメントシート 情報収集と分析	講義 演習	
第8回	事例 4 アセスメントシート 情報収集と分析	演習	
第9回	事例 4 個別援助計画	講義 演習	
第10回	事例 4 個別援助計画	演習	
第11回	帰校日	演習	
第12回	実習Ⅱ-1 介護過程の見直し グループワーク	演習	
第13回	実習Ⅱ-1 介護過程の見直し グループワーク	演習	
第14回	情報の収集と分析	演習	
第15回	個別援助計画	演習	

評価方法	<input type="checkbox"/> 試験 (%)	<input type="checkbox"/> 実技試験 (%)	<input checked="" type="checkbox"/> 演習評価 (100 %)
	<input type="checkbox"/> 小テスト (%)	<input type="checkbox"/> レポート (%)	<input type="checkbox"/> その他 (%)

教科書	介護過程 (中央法規)
参考図書	
留意事項	

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	時間数	開講期	種別
介護過程 5	澤浦 知子	2	30	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

実習で実践した個別援助計画を振り返り、事例報告としてまとめる。
利用者の真のニーズを十分に汲み取りながら援助したかを検討し、自分が展開し実践した介護を客観的に振り返る

◇到達目標

パワーポイントを用いて、実践した介護過程を事例報告会で発表する。
自分の介護観を確かなものにする。介護福祉士として福祉の現場で貢献する覚悟を身につける。

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	事例研究 本論 介護計画・評価	演習	
第2回	本論 介護計画・評価	演習	
第3回	考察	演習	
第4回	考察	演習	
第5回	まとめ	演習	
第6回	まとめ	演習	
第7回	事例研究 パワーポイント作成 序論 研究の目的 テーマ	演習	
第8回	事例の概要 情報の分析 生活課題	演習	
第9回	介護目標 介護計画	演習	
第10回	介護の実施と評価	演習	
第11回	考察・まとめ	演習	
第12回	事例研究 発表	演習	
第13回	事例研究 発表	演習	
第14回	事例研究 発表	演習	
第15回	事例研究 発表	演習	

評価方法	<input type="checkbox"/> 試験 (%) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input checked="" type="checkbox"/> 演習評価 (100%) <input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input type="checkbox"/> レポート (%) <input type="checkbox"/> その他 (%)
------	---

教科書	介護事例研究の手引き (日総研)
参考図書	
留意事項	

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	時間数	開講期	種別
介護総合演習3	加納 岬	2	30	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

実習に対する心構えや技術の確認・実習後のまとめを通して介護福祉士としての知識・技術を深める。実習前に各施設種別の特徴や動機付け・技術確認を行い、介護実習の目標・課題を達成できるようにする。実習中の問題点の整理・課題解決・実習後のまとめを通して次回への展開を行えるようにする。

◇到達目標

介護実習の意義・目的・課題を理解する。
居宅・通所・入所・介護分野での理解と介護福祉士としての役割の明確化ができる。

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	実習Ⅱ-1の意義・目的 特別養護老人ホーム・介護老人保健施設とは	講義	
第2回	実習Ⅱ-1の意義・目的 特別養護老人ホーム・介護老人保健施設とは	講義	
第3回	実習Ⅱ-1 個人票の作成	演習	
第4回	特別養護老人ホームとは 特別講義	講義・演習	
第5回	介護老人保健施設とは 特別講義	講義・演習	
第6回	バリアフリー展 インテックス大阪 見学	講義・演習	
第7回	バリアフリー展 インテックス大阪 見学	演習	
第8回	自己計画表の作成	演習	
第9回	生活支援技術の確認	演習	
第10回	生活支援技術の確認	演習	
第11回	Ⅱ-1の準備 事前確認	演習	
第12回	帰校日指導	演習	
第13回	実習のまとめ	演習	
第14回	実習Ⅱ-1 報告会	演習	
第15回	訪問介護とは	講義・演習	原田

評価方法	<input type="checkbox"/> 試験 (%) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input type="checkbox"/> 演習評価 (%)
	<input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input checked="" type="checkbox"/> レポート (100 %) <input type="checkbox"/> その他 (%)

教科書	新・介護福祉士養成講座 第10巻 介護総合演習・介護実習(中央法規出版) 配布資料
参考図書	
留意事項	

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	時間数	開講期	種別
介護総合演習4	加納 岬	2	30	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

実習に対する心構えや技術の確認・実習後のまとめを通して介護福祉士としての知識・技術を深める。実習前に各施設種別の特徴や動機付け・技術確認を行い、介護実習の目標・課題を達成できるようにする。実習中の問題点の整理・課題解決・実習後のまとめを通して次回への展開を行えるようにする。

◇到達目標

介護実習の意義・目的・課題を理解する。
居宅・通所・入所・介護分野での理解と介護福祉士としての役割の明確化ができる。

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	訪問介護とは 特別講義	講義・演習	
第2回	実習Ⅰ-5 個人票の作成	講義・演習	
第3回	多職種連携 ～チームアプローチについて	講義・演習	原田
第4回	多職種連携 ～チームアプローチについて 5 学科合同	講義・演習	
第5回	多職種連携 ～チームアプローチについて 5 学科合同	講義・演習	
第6回	実習Ⅱ-2 個人票の作成	講義・演習	
第7回	自己計画表の作成	講義・演習	
第8回	実習Ⅰ-5 事前準備 実習の確認	講義・演習	
第9回	実習Ⅰ-5 報告会	講義・演習	原田
第10回	実習Ⅱ-2 事前準備 意義・目的	講義・演習	
第11回	帰校日指導	講義・演習	
第12回	実習のまとめ	講義・演習	
第13回	実習Ⅱ-2 報告会	講義・演習	
第14回	アンダーマネジメントとは	講義・演習	
第15回	介護ロボットとは	講義・演習	

評価方法	<input type="checkbox"/> 試験 (%) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input type="checkbox"/> 演習評価 (%)
	<input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input checked="" type="checkbox"/> レポート (100 %) <input type="checkbox"/> その他 (%)

教科書	新・介護福祉士養成講座 第10巻 介護総合演習・介護実習(中央法規出版) 配布資料
参考図書	
留意事項	

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	時間数	開講期	種別
発達と老化2	澤浦 知子・吉末 高久	2	30	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

- ・老年期の発達の定義や発達課題について理解を深め、老年期にどのような問題や課題があるのか等について具体的に学習する。(人格と尊厳・老いの価値、セクシュアリティ、喪失体験など)
- ・高齢者の疾患・症状の特徴を学ぶ。
- ・老化に伴う適応と社会的活動を学ぶ。

◇到達目標

- ・人間の成長と発達の過程における、身体的・心理的・社会的変化及び老化が生活に及ぼす影響を理解し、ライフサイクルの特徴に応じた生活を支援するための基礎的な方策を説明することができる。
- ・老化に伴う機能低下と日常生活への影響とその予防方法が理解できる。
- ・高齢者の健康維持のための支援に必要な知識を身につける。

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	老年期の定義	講義	吉末
第2回	老化とは	講義	吉末
第3回	老年期の発達課題①～代表的な発達理論 ハヴィガースト、エリクソン～	講義	吉末
第4回	老年期の発達課題②～代表的な発達理論 ペック、レヴィンソン、バルテス～	講義	吉末
第5回	老年期の発達課題③～人格と尊厳・老いの価値、セクシュアリティ～	講義	吉末
第6回	老年期の発達課題④～喪失体験とは～	講義	吉末
第7回	老年期をめぐる今日的課題	講義	吉末
第8回	老化に伴う心理的な変化と生活への影響	講義	澤浦
第9回	老化に伴う社会的な変化と生活への影響	講義	澤浦
第10回	高齢者に多い疾患 がんと生活支援上の留意点	講義	澤浦
第11回	高齢者に多い疾患 呼吸器疾患と生活支援上の留意点	講義	澤浦
第12回	高齢者に多い疾患 皮膚疾患と生活支援上の留意点	講義	澤浦
第13回	高齢者に多い疾患 感覚器疾患と生活支援上の留意点	講義	澤浦
第14回	高齢者に多い疾患 感染症と生活支援上の留意点	講義	澤浦
第15回	試験	試験	澤浦・吉末

評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 試験 (100 %) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input type="checkbox"/> 演習評価 (%)
	<input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input type="checkbox"/> レポート (%) <input type="checkbox"/> その他 (%)

教科書	発達と老化の理解 (中央法規)
参考図書	
留意事項	授業前には当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義後は授業のポイント等をノートにまとめるなど復習しておくこと。

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	時間数	開講期	種別
認知症の理解2	中家 洋子・松岡 美穂子 長坂 剛夫	2	30	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

〔中家〕 認知症の原因疾患や症状を理解し、的確なケアが行えるための基本的な知識を習得し、地域社会、人間関係、生活環境についても学ぶ
〔松岡〕 認知症の原因疾患を理解した上で中核症状や行動・心理症状について具体的な対応(ケア)の方法を学ぶ コミュニケーションから捉える認知症の人の心の世界を考え、思考のプロセスを考える
〔長坂〕 思い出を用いた認知症高齢者の対人援助手段としての回想法の実践に必要な知識と技術を学ぶ

◇到達目標

〔中家〕 介護福祉士として、地域で暮らす認知症の人や家族への支援に必要な専門知識を身につける、また、自立支援の視点からアセスメントしコミュニケーション技術等、専門職としての技術を用いて実践する認知症を対象とした介護計画を考えることができる。そのために、以下を理解し身につけることができる ①グループワークやディスカッション等を通して認知症を理解し、介護に対する自己の考えを身につけ、他者の話を聞く、他者に伝えることができる②認知症の人を取り巻く状況について理解できる③認知症の基礎的知識を身につけ、認知症に伴うこととからだの変化と日常生活を理解できる
〔松岡〕 パーソンセンタードケアを基本とし、行動・心理症状の具体的な対応を理解する 認知症の人と家族が及ぼす影響をひもときシートを活用し、理解を深める 認知症の人を理解し、アルツハイマー型認知症の人の対応を身に付ける
〔長坂〕 回想法の概念、効果、技術を学び、グループ回想法を活用して認知症高齢者の介護に活かすことができる

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	認知症Iの振り返り・認知症ケアの理念と権利擁護の視点	講義	中家
第2回	認知症の当事者の視点から見えるもの	講義・小テスト	中家
第3回	認知症の人の治療とケア・終末期医療と介護	講義	中家
第4回	認知症の人のケアの実際・環境づくり	グループワーク	中家
第5回	介護者支援・認知症の人の地域生活支援(地域包括ケア・多職種連携)	講義・小テスト	中家
第6回	振り返り・まとめ	講義・小テスト	中家
第7回	健康な高齢者の「物忘れ」と「認知症による記憶障害」の違いや認知症の中核症状と行動・心理症状(BPSD)の関わりポイント、認知症への人の対応・コミュニケーションの方法及び介護方法について理解する	講義	松岡
第8回	パーソンセンタードケアはどのようなケアなのか?を知り、認知症ケアマッピング(DCM)を理解する	講義	松岡
第9回	ひもときシートを用いて「関わった結果」より「どう考えるのか」という思考のプロセス(ひもとき)を理解する	講義・演習	松岡
第10回	ひもときシートを活用し、その人の今を分析(客観視)し、その人に対して真に求められるケアを「ひもときシート」アシスト「」も活用し理解する Yes andの認知症ケアの技法を知る	講義・演習	松岡
第11回	高齢者心理と回想法概論	講義	長坂
第12回	回想法の技法と実践その1: カウンセリング技法の基本	講義・演習	長坂
第13回	回想法の技法と実践その2: グループ回想法の準備	講義・演習	長坂
第14回	回想法の技法と実践その3: 困った場合の対応方法	講義・演習	長坂
第15回	試験	試験	吉末

評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 試験 (60 %) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input type="checkbox"/> 演習評価 (%) <input checked="" type="checkbox"/> 小テスト (10 %) <input checked="" type="checkbox"/> レポート (10 %) <input checked="" type="checkbox"/> その他(プレゼンテーション等 20 %)
------	--

教科書	最新・介護福祉士養成講座 第13巻 認知症の理解(中央法規出版)、随時配付プリント有り
参考図書	講義中に適宜紹介する
留意事項	国家試験に向けての小テストを行う 予習、復習をすること(認知症の理解1の内容含む)

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	時間数	開講期	種別
障害の理解2	大西 和幸 ・上松 幸一 吉末 高久	2	30	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

<p>[大西] 発達障害の障害特性やアセスメントの仕方、具体的な関わり方、最新の発達障害者支援の現状なども含め講義する</p> <p>[上松] 肢体不自由や重症心身障害に関する理解を深める</p> <p>[吉末] 難病の定義を学び、代表的な疾患について基礎的知識を理解し、その特性に基づいた支援を学習する</p>
--

◇到達目標

<p>[大西] 発達障害の障害特性を正しく理解し、現場において適切な介護を行うことができるようになることが目標</p> <p>[上松] 肢体不自由や重症心身障害の概要を理解するとともに、その知識を支援に繋げられるようになる</p> <p>[吉末] 難病の定義について説明でき基礎的知識を理解し、アセスメントの視点と生活支援上の留意点が理解できる</p>
--

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	発達障害の基礎知識	講義	大西
第2回	それぞれの障害特性①「自閉スペクトラム症」	講義	大西
第3回	それぞれの障害特性②「注意欠如多動症」「限局性学習症」	講義	大西
第4回	アセスメント方法について	講義	大西
第5回	発達障害児への関わり、配慮点について	講義	大西
第6回	肢体不自由(運動機能障害)の全体像	講義・演習	上松
第7回	肢体不自由に関する疾患と支援	講義・演習	上松
第8回	重度心身障害(重度心身障害)	講義・演習	上松
第9回	重度心身障害の支援について	講義・演習	上松
第10回	その他の支援	講義・演習	上松
第11回	難病とは、難病の特性の理解、難病の特性に応じた支援	講義	吉末
第12回	おもな難病の理解 筋萎縮性側索硬化症(ALS)の基礎的知識とその特性に基づいた支援	講義	吉末
第13回	おもな難病の理解 パーキンソン病の基礎的知識とその特性に基づいた支援	講義	吉末
第14回	おもな難病の理解 悪性関節リウマチの基礎的知識とその特性に基づいた支援	講義	吉末
第15回	おもな難病の理解 筋ジストロフィーの基礎的知識とその特性に基づいた支援	講義	吉末
第16回	試験	筆記試験	吉末

評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 試験 (70 %) <input type="checkbox"/> 実技試験 (%) <input type="checkbox"/> 演習評価 (%) <input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input checked="" type="checkbox"/> レポート (30 %) <input type="checkbox"/> その他 (%)
------	---

教科書	介護福祉士養成講座 第14巻 障害の理解(中央法規出版)、プリント配付
参考図書	
留意事項	予習復習すること

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	時間数	開講期	種別
医療的ケア2	澤浦 知子 ・ 吉末 高久	2	38	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

- ・呼吸のしくみとはたらきを理解し、喀痰吸引実施と手順と留意点、喀痰吸引に関わる感染予防、安全確認、緊急対応について理解する。
- ・消化器系の役割・機能を理解し、経管栄養実施時の手順と留意点、必要なケアについて学習する。

◇到達目標

- ・呼吸のしくみとはたらき、呼吸器系の感染予防、喀痰吸引により生じる危険、安全確認の知識を身につける。
- ・感染予防対策の知識技術を習得する。
- ・経管栄養が必要な状態を説明でき、経管栄養に関する基礎的知識及び実施に当たっての留意点、必要な根拠に基づくケアを述べることができる。また、経管栄養実施時の手順を習得し、適切な実施が想定できる。

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	呼吸のしくみとはたらき 呼吸器疾患	講義	澤浦
第2回	いつもと異なる呼吸状態 呼吸困難とそれがもたらす苦痛や障害	講義	澤浦
第3回	痰の貯留を示す状態 喀痰吸引が必要な状態	講義	澤浦
第4回	気管カニューレ内部の吸引と喀痰吸引に伴うケア	講義	澤浦
第5回	気管カニューレ内部の吸引と喀痰吸引に伴うケア	講義 演習	澤浦
第6回	気管カニューレ内部の吸引と喀痰吸引に伴うケア	講義 演習	澤浦
第7回	喀痰吸引時の感染予防対策 喀痰吸引により生じる危険と安全対策	演習	澤浦
第8回	その他の医療的ケア	演習	澤浦
第9回	感染症の予防と対策	演習	澤浦
第10回	消毒と滅菌	演習	澤浦
第11回	感染症の予防と対策	講義 演習	澤浦
第12回	経管栄養～消化器のしくみと働き、消化・吸収とよくある消化器の症状①～	講義	吉末
第13回	経管栄養～消化・吸収とよくある消化器の症状②、経管栄養とは、注入の内容に関する知識、経管栄養実施上の留意点～	講義	吉末
第14回	経管栄養～経管栄養実施上の留意点、子どもの経管栄養について、経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意～	講義	吉末
第15回	経管栄養～経管栄養に係る感染と予防、経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策～	講義	吉末
第16回	経管栄養実施手順解説～経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持～	講義	吉末
第17回	経管栄養実施手順解説～経管栄養の技術と留意点～	講義	吉末
第18回	経管栄養実施手順解説～経管栄養に必要なケア、報告及び記録～	講義	吉末
第19回	試験		

評価方法	■試験 (100 %)	□実技試験 (%)	□演習評価 (%)
	□小テスト (%)	□レポート (%)	□その他 (%)

教科書	医療的ケア (中央法規)
参考図書	
留意事項	授業前には当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義後は授業のポイント等をノートにまとめるなど復習しておくこと。

令和8年度 介護福祉学科 シラバス

科目名	担当講師	学年	時間数	開講期	種別
医療的ケア演習	澤浦 知子 ・ 吉末 高久 小林 玲子 ・ 岡田 律	2	20	前期 後期	必修 選択

◇講義概要

- ・安全で確実な喀痰吸引の技術と、喀痰吸引に伴うケアを習得する。
- ・安全で確実な経管栄養の技術と、経管栄養に伴うケアを習得する。

◇到達目標

- ・必要器材のしくみと使用方法、その管理方法を習得する。
- ・利用者の状態観察と留意点を理解できる。
- ・実施後の記録報告事項を理解する。

◇授業計画

回数	内容	講義形態	備考
第1回	感染予防 清潔操作	演習	
第2回	喀痰吸引の実施 (鼻腔・口腔内吸引)	演習	
第3回	喀痰吸引の実施 (鼻腔・口腔内吸引)	演習	
第4回	喀痰吸引の実施 (気管カニューレ内吸引)	演習	
第5回	喀痰吸引の実施 (気管カニューレ内吸引)	演習	
第6回	喀痰吸引の実施 (気管カニューレ内吸引)	演習	
第7回	経管栄養のケア実施の手引き～経管栄養の技術と留意点①～	講義・演習	
第8回	経管栄養のケア実施の手引き～経管栄養の技術と留意点②～	講義・演習	
第9回	経管栄養の実施 (経鼻経管栄養)	演習	
第10回	経管栄養の実施 (胃ろう経管栄養)	演習	
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			

評価方法	<input type="checkbox"/> 試験 (%) <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 (100 %) <input type="checkbox"/> 演習評価 (%) <input type="checkbox"/> 小テスト (%) <input type="checkbox"/> レポート (%) <input type="checkbox"/> その他 (%)
------	--

教科書	医療的ケア (中央法規)
参考図書	
留意事項	喀痰吸引及び経管栄養の実施手順を熟読して、演習に臨むこと。